Panasonic®

取扱説明書

MD ステレオシステム

品番 **SC-PM700MD**

このたびは、ＭＤ ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4 ～ 6 ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

MDLP

上手に使って上手に節電

RQT7440-5S

もくじ

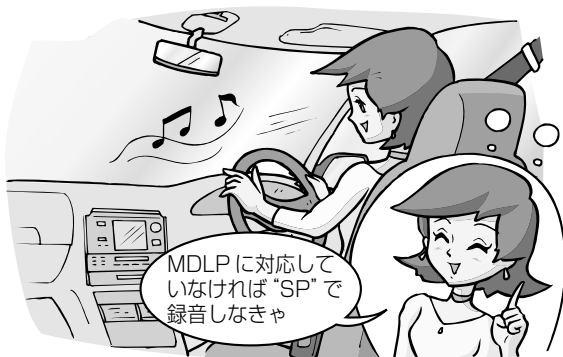
すばやく MD に録音 ☞ 32 ページ

高速録音 を使えば、短時間で録音できます。

大好きな MD をもう一枚 ☞ 52 ページ

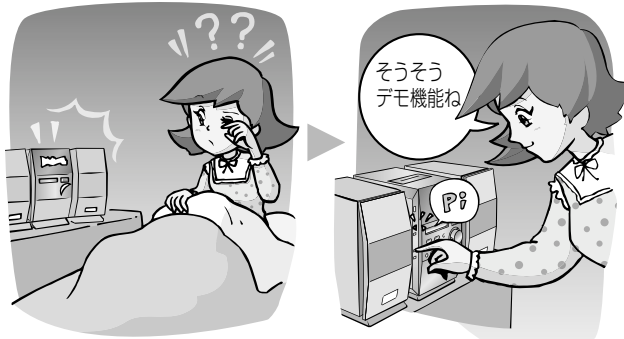
ポータブル MD から本機の MD へ録音できます。

車で MD を再生 ☞ 32 ページ

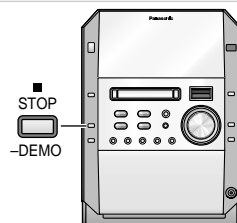
カーオーディオが MD**LP** に対応しているかご確認ください。

ラジオ講座を忘れずに録音 ☞ 50 ページ

予約した時間に録音できる***留守録タイマー***が便利です。

電源「切」時の表示部の点灯について

電源を切っても表示部は、自動的に点灯することがあります。**（デモ機能）**

●お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。電源を「切」にしても、表示部は全消灯せず、デモ機能が働きます。

デモ機能を「切」にするには

■ STOP –DEMO

デモ機能動作中に
"DEMO OFF" と表示するまで長押し

DEMO OFF

長押しのたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせる（☞ 48 ページ）**と、デモ機能は自動的に「切」になります。**

準備

聞く

録音

5CDイッキ録り
5枚のCDを1枚のMDにスピーディーに録音

もっと使いこなす

もし必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

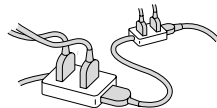
■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは､プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

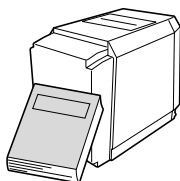
電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

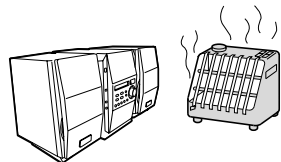
屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

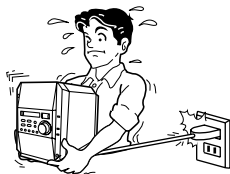
⚠ 注意

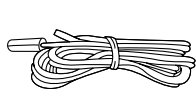
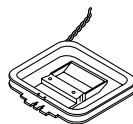
ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

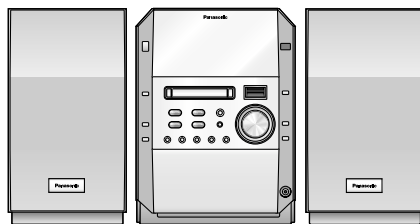
持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

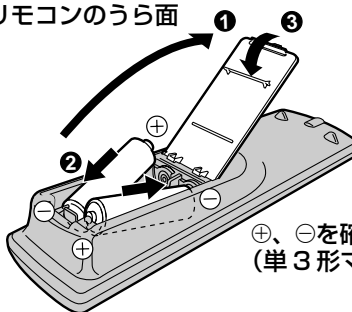
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属品を確認してください

カッコ【　】内は、買い替え時の品番です。

FM 簡易型アンテナ（1 本）【RSA0007-L】

AM ループアンテナ（1 本）【N1DAAAA00001】

本機はこのように置きます

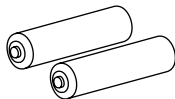
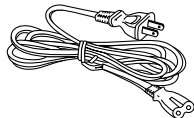
MD ステレオシステム（SC-PM700MD）

スピーカー（SB-PM700）　センターユニット（SA-PM700MD）　スピーカー（SB-PM700）

- スピーカーは右、左とも同じ形です。どちらに置いてもかまいません。
- センターユニットとスピーカーは１ｃm以上離す。

リモコンはこのように使います

■乾電池(付属)の入れかた

リモコンの準備

リモコン
【N2QAJB000094】

リモコン用乾電池
（単３形：２本）

電源コード（１本）
【RJA0012-K】

お知らせ

●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

■スピーカーについて

スピーカーは防磁設計ではありません。
●パソコンやテレビなどの近くに置く場合は、10 cm以上離してください。

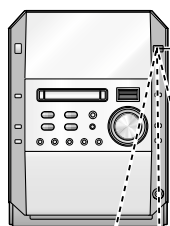
付属のスピーカー以外はご使用になれません。
●他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。

■より良い音響効果を得るために

●平らで安定した場所に設置する。
●堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
●左右のスピーカーの間隔を広げる。
●壁から５ cm 以上離して設置する。

お願い

●大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
●通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
- 音がひずんだとき
- 音質を調整するとき

■リモコンの使いかた

■使用上のお願い

●受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
●受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受光部と送信部のほこりに注意。

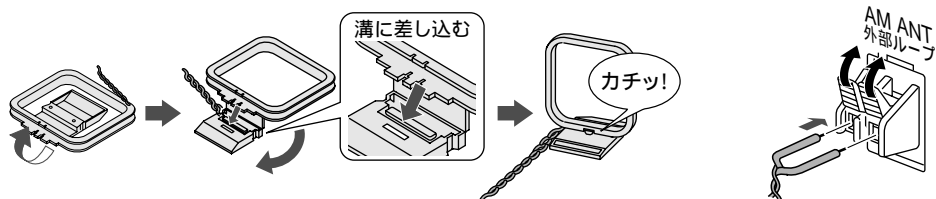
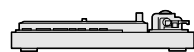
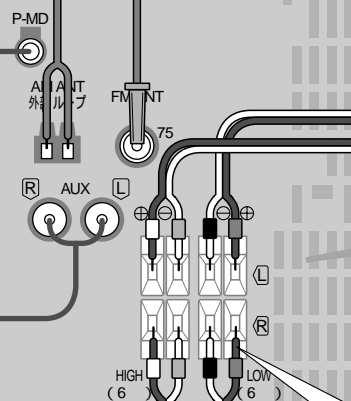
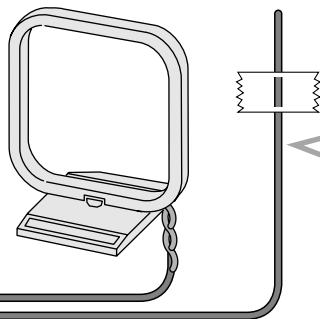
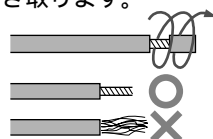
■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

本機を移動するとき

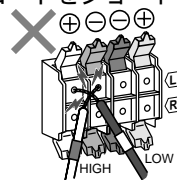
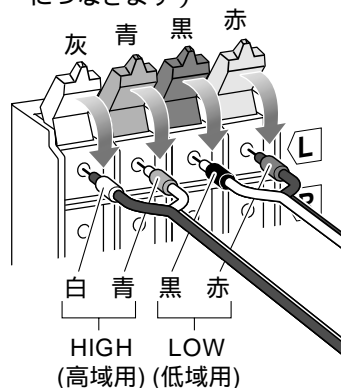
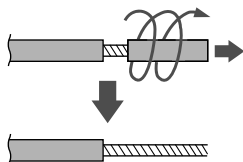
① CD、MD、テープをすべて取り出す。
② ［⏻/I POWER］を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

接続のしかた

1 AM ループアンテナ
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 28 ページ）雑音の少ない位置に置きます。
溝に差し込む
カチッ!
AM ANT
外部ループ
こんな機器もつなげます
ポータブル MD プレーヤー
（☞ 52 ページ）
P-MD 端子へ
アナログプレーヤー
テレビなど
（☞ 54 ページ）
AUX 端子へ
P-MD
FM ANT
75Ω
AUX
HIGH
(6Ω)
LOW
(6Ω)

2 FM簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 28 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

3 スピーカーコード

① 先端部分を、ねじりながら抜き取ります。

② 端子のレバーと同じ色のチューブが付いたコードをつなぎます。（白色のチューブが付いたコードは灰色の端子につなぎます）

お知らせ

- **誤った接続をすると、故障の原因になります。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

AC入力～

先端部分を、ねじりながら抜き取る。

4 電源コード

電源コードは最後に接続します。

- 電源コードを抜くときは…

① POWER を押す。

② " GOODBYE " 表示が消えてから抜く。

電源コードを抜くときは、" GOODBYE "の表示が消えてから!

家庭用電源コンセント（AC100 V 50/60 Hz）

特長と各部のなまえ

⑫ などの数字は参照ページです。

主な特長

大きな表示部
- ●デモ機能
- ● CD / MD のリスト表示など

MD
- ● MDLP(長時間録音 / 再生)対応
- ●グループ管理機能
- ● MD 編集
- ● MD ネットワーク対応
- ● MD への録音レベル調整

アンプ / 端子部
- ● 4 種類のプリセットイコライザー
- ●低域/高域調整のマニュアルイコライザー
- ●サラウンドサウンド
- ●補助入力（AUX）端子
- ●ポータブル MD との接続（P-MD）端子
- ●ヘッドホン端子

カセットデッキ
- ●オートリバース
- ● TPS（頭出し）

FM / AM チューナー
- ●エリアバンクで放送局を記憶
- ●おやすみタイマー対応
- ●おめざめ / 留守録タイマー対応（曜日設定可能）

5CD チェンジャー
- ● 5 枚連続再生
- ● CD-R / RW 対応
- ● WMA / MP3 対応
- ● HighMAT 対応
- ● 5CD イッキ録り
- ●高速録音(最大 6 倍速)

その他
- ●最大 24 曲のプログラム再生
- ●ランダム再生
- ●リピート再生
- ● CD / MD のタイトル入力

本体

- ⏻/I POWER（電源）ボタン ⑫
- 表示部（右記）
- MD 挿入口
- ▲ EJECT（MD 取り出し）ボタン ⑮
- メイン操作部
- ■ STOP ー DEMO（停止、デモ）ボタン ❷ ⑬
- CD CHECK（CD チェック）ボタン ㊹
- CD 1 ー CD 5(CD ダイレクトプレイ/CD 選択)ボタン ⑫
- CD トレイふた ⑬
- テープホルダー
- OPEN ▲（テープホルダー開）ボタン ㉗
- ● CD ▶ MD HI-SPEED AUTO REC (CD から MD へイッキ録り)ボタン ㊱
- リモコン受光部
- RETURN ボタン ⑲
- LIST SELECT（リスト選択 / 決定）JOG ダイヤル ⑬ ⑱
- ▲ CD CHANGE（CD トレイ選択）ボタン ⑫
- ▲ OPEN / CLOSE（CD トレイ開閉）ボタン ⑬
- PHONES（ヘッドホン）端子 ㊻
- VOLUME（音量調節）つまみ ⑫
- SP/LP（長時間録音）ボタン ㉝

リモコン

- SLEEP、－AUTO OFF（おやすみタイマー、オートオフ）ボタン ㊿ (56)
- ⏻（電源）ボタン
- PROGRAM、－AREA ボタン ⑳ ㉚
- DISC（CD 選択）ボタン ⑬ ⑳
- TITLE IN（タイトル入力）ボタン ⑱ ㊹
- CHARA（文字種類）ボタン ㊻
- TITLE SEARCH（タイトル検索）ボタン ㉒
- DEL（文字削除）ボタン ㉓ ㊼
- ALBUM / GROUP 選択ボタン ⑮ ㉓
- VOL －、＋（音量、録音レベル）調節ボタン ⑫ (55)
- MUTING（消音）ボタン (57)
- SP/LP（長時間録音）ボタン ㉝
- RE-MASTER ボタン (57)
- ●/❚❚ REC（録音）ボタン ㉝
- MD、－HI-SPEED CD ▶ MD（MD 録音、高速録音）ボタン ㉝
- CLOCK / TIMER（時計 / タイマー）ボタン ㊽ ㊿
- ◴ PLAY / REC（タイマー入 / 切）ボタン ㊾ (51)
- DISPLAY、－LIGHT（表示切換、明るさ切換）ボタン ⑮ (56)
- PLAY MODE、－REPEAT（再生モード切換、くり返し）ボタン ⑬ ⑳ ㉒
- 1 ～ 0、≧10（数字）文字入力ボタン
- メイン操作部
- FM/AM/EXT（ラジオ、外部入力切換）ボタン ㉚ (52) (54)
- ▲、▼（選択）ボタン ⑯ ⑲
- LIST/ENTER（リスト / 決定）ボタン ⑯ ⑱
- RETURN ボタン ⑰
- SOUND（音質切換）ボタン (57)
- SURROUND（音場切換）ボタン (57)
- EDIT MODE（編集）ボタン ⑲ ㉔ ㊵
- TAPE（テープ録音）ボタン ㉟

表示部

画面表示は説明用の例です。

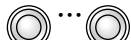
選択した CD 表示　　各操作に共通の表示部

MD 表示　MD 録音表示　タイマー表示　リバースモード表示　テープ表示

SP / LP2 / LP4 モード表示　SLEEP 表示　テープ録音表示　テープ走行方向表示

■スクリーンセーバー（焼き付け防止用の表示）について

オートオフ（☞ 56 ページ）を設定してないとき、ボタン操作のない状態が 10 分続くと表示がスクリーンセーバーに変わります。この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。

CD を聞く
電源
⏻/I POWER
EJECT
STOP
-DEMO
CD CHECK
LIST SELECT
PUSH ENTER
VOLUME
MD ▶/II
CD ▶/II
● CD→MD
HI-SPEED AUTO REC
TAPE ◀▶
FM/AM/EXT
SP/LP
CD 1
CD 2
CD 3
CD 4
CD 5
DOWN
UP
CD CHANGE
OPEN/CLOSE
PHONES
1
CD を入れる
2
再生方法
を選ぶ
3
再生する
音量を調節する
本体で
小さくなる
VOLUME
大きくなる
回す
DOWN
UP
リモコンで
小さくなる
大きくなる
VOL −
押す
VOL +
押す
VOLUME 23
0
(最小)
50
(最大)
再生中に他の CD を取り出すには（CD チェンジ）
本体で
▲ CD CHANGE
押して
▶
10 秒以内
CD 1
CD 5
押す
選んだトレイが開きます。
（閉めるには、もう一度［▲ CD CHANGE］を押す）
CD Disc ?
■停止する
■一時停止する
■曲を飛ばす
（スキップ）

①

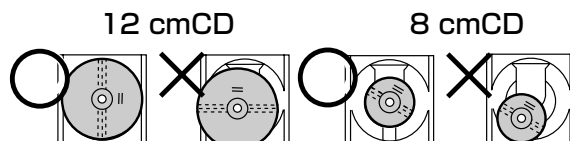
好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

●すでにトレイに CD が入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

②

押してトレイを開けて CD を入れ

もう一度押して閉じる
（トレイを手で押して閉めない）

12 cmCD　　8 cmCD

● CD はラベル面を上に、図のように正しく置く。
● CD トレイには、1 枚の CD を入れる。

リモコン

停止中に
押して “1 DISC” または “ALL DISC” を選ぶ

押すたびに

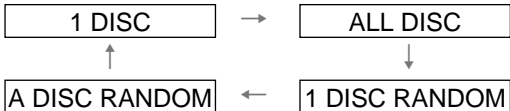
1 DISC → ALL DISC
↑　　　↓
A DISC RANDOM ← 1 DISC RANDOM

● “A DISC RANDOM” または “1 DISC RANDOM” を選んだ場合は「ランダムプレイ」(☞ 20 ページ)

■ 1 枚の CD を再生するとき
（1 ディスクプレイ）

1 DISC

■複数の CD を連続再生するとき
（オールディスクプレイ）

ALL DISC

“A–D” が表示されます。
例： CD4 から始めた場合
CD4 → 5 → 1 → 2 → 3 の順に再生します。

押す
選んでいる CD の再生が始まります。

選んだ CD を表示
（CD が入っていなくても点灯します）

CD► Disc 1
TRACK 1 — 曲番
0 : 03 — 再生経過時間

■再生を始める CD を選ぶ場合は

本体で

押す

リモコンで

押して ▶

10 秒以内

押す

CD Disc ?

本体で	リモコンで
■ STOP –DEMO 押す	STOP 押す

押す

押す

（再開するには、もう一度押す）

上下に動かす

∨/REW　∧/FF
押す

	本体で	リモコンで
■早送り / 早戻しする（サーチ）	操作できません	再生中（一時停止中） ∨/REW ∧/FF 聞きたい位置まで長押し
■ CD を取り出す	OPEN/CLOSE 押す（閉めるには、もう一度押す）	操作できません

聞く

CDを聞く

MD を聞く

電源

POWER

1
MD を入れる

2
再生する

音量を調節する

本体で

小さくなる　VOLUME　大きくなる

回す

DOWN　UP

リモコンで

小さくなる　大きくなる

VOL − 押す　VOL + 押す

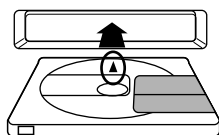
VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

■停止する ➡

■一時停止する ➡

■曲を飛ばす（スキップ） ➡

■グループを飛ばす（グループスキップ） ➡

録音済み MD を入れる

（電源が入る）
MD モードになっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

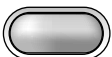
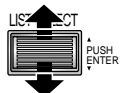
押す

再生が始まります。

■ MD**LP**（長時間ステレオ録音/再生）について

MD**LP** は音声圧縮技術によって長時間（2 倍または 4 倍）ステレオ録音、再生できる方式です。
録音したときのモード（SP/LP2/LP4）に従って再生します。
再生時には、表示部に次のように表示されます。
- 標準時間録音モードで録音した曲のとき：“SP”
- 2 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP2”
- 4 倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき：“LP4”

MD**LP** で長時間録音するには（☞ 33 ページ）

- すでに MD が入っているときに手順 **2** を行うと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

本体で	リモコンで
■ STOP –DEMO 押す	STOP 押す
MD ►/II 押す	MD ►/II 押す
（再開するには、もう一度押す）	
LIST/SELECT PUSH ENTER 上下に動かす	∨/REW ∧/FF 押す
操作できません	ALBUM/GROUP 押す

	本体で	リモコンで
■早送り / 早戻しする（サーチ）	操作できません	再生中（一時停止中） ∨/REW ∧/FF 聞きたい位置まで長押し
■ MD を取り出す	EJECT 押す	操作できません
■残り時間やタイトル、グループを表示する	操作できません	DISPLAY –LIGHT 押す 押すたびに内容が切り換わります。

聞く

MDを聞く

WMA/MP3を聞く
ダブルエムエー　エムピースリー

パソコンなどで音楽用CD-R/RWに記録したWMA、MP3を再生できます。

準備：① 電源を入れる。
② CDを入れる。
③ "CD" に切り換える。

CD ▶ STOP

WMA/MP3とは(共通)

●基本的な操作はCDと同じです。
●パソコン等でフォルダやファイルに付けた名前をそれぞれ、アルバム名・トラック名として扱います。

CD-DA(通常の音楽CD)との違い

●プログラムまたはランダムプレイは同一ディスク内のみです。
●早送り/早戻し(サーチ)はできません。
●MDに録音した場合、MDのトラックタイトルは、WMA/MP3のファイル名がコピーされます。

本機で再生できるファイルを作るには

●使用できるフォーマット：ISO9660 level 1および、level 2
●WMA/MP3ファイルの作成ソフトの説明書もご参照ください。記録状態により再生できない場合があります。
●再生したい順番を指定するには、右記のように名前を付けます。(ただし、順番通りに再生しないことがあります)

HighMAT で記録されたディスクを聞く
ハイマット

1 押す

CD選択画面が表示されます。

▼

押して聞きたいCDを選ぶ

4   押す

● 手順3で"WMA/MP3"を選んだ場合は
(☞ 19ページ手順2「WMA/MP3、アルバムを選ぶ」)

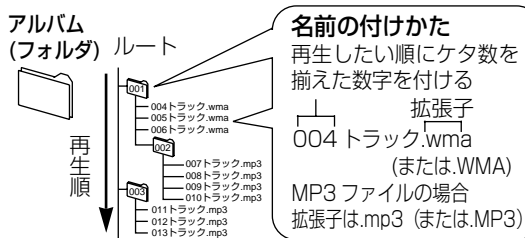
■WMAの再生について

●WMAで記録された曲を本機で再生すると、"TRACK PROTECTED"が表示され再生できないことがあります。これは再生しようとした曲が著作権保護されていることを示しています。
●著作権保護された曲は、本機では再生できません。
●詳しくは、WMAの曲を作成する際に使用したソフトのメーカーにお問い合わせください。

■漢字やひらがなの表示について

漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。
フォルダやファイル、プレイリストやメニューにパソコン等で名前を付ける場合、本機で表示できるようにカタカナ・アルファベット・数字・記号で入力してください。

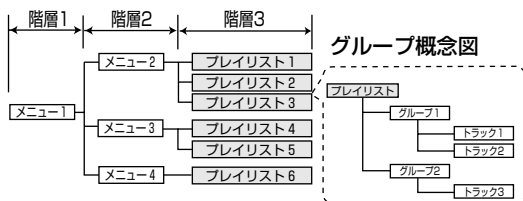
お知らせ

- 本機は ID3 タグに対応していません。
- 本機はマルチセッションに対応しています。セッション数が多いと再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- 同一ディスクで WMA または MP3 と CD-DA (通常の音楽 CD) の両方の形式が別のセッションに記録されている場合、最初のセッションに使用されている形式のみ再生します。
- 最大アルバム数 400、トラック数 999 まで再生できます。階層の深いフォルダが複数ある場合は、すべてのフォルダやファイルを認識できないことがあります。

HighMAT (ハイマット) とは

- HighMAT™ 規格は音声/画像/動画ファイルを CD-R/RW に記録するときの管理フォーマットです。**本機では WMA/MP3 の音楽ファイルが記録されたディスクを再生できます。**
- 再生する曲と順番を定めた**プレイリスト**に合わせて再生できます。
- **プレイリスト**はパソコンで作成することができ、アーティスト名やアルバム名、ジャンル等の検索に便利です。
- メニューは最大 8 階層まで作ることができます。

作成方法は、下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

プレイリスト概念図

□ : メニュー (プレイリストを探すための条件項目)
□ : プレイリスト
グループ : プレイリスト内の好みのひと固まり

2 押す

▼

HighMAT

手順 2 または CD を入れたときに、この表示が出ないディスクでは、プレイリストでの再生はできません。

3 **押して再生方法を選ぶ**

HighMAT Menu
メニューからプレイリストを探す
All Playlist
プレイリストだけを順番に探す
WMA/MP3
通常の WMA/MP3 として再生

■途中で止める ➡ STOP

- 再生中 : プレイリスト選択画面が表示
- 停止中 : 元の表示に戻る

■グループを選ぶ

➡ 再生中に ALBUM/GROUP

■ 1 つ前の表示に戻る

➡ 停止中に RETURN

5 **押してメニューまたはプレイリストを選ぶ**

例 : "HighMAT Menu" を選んだ場合

Artist
♪11 All By Art

プレイリスト表示

6   **押す**

必要に応じて、手順 5-6 をくり返してプレイリストを選ぶ
選んだプレイリストの内容で再生します。
(1 ディスクプレイになります。)

お知らせ

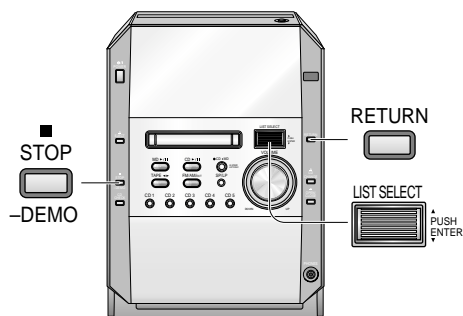
- HighMAT で記録されたディスクを作るためには、Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。
- 本体の [LIST SELECT] でも左記の操作を行うことができます。

聞く

WMA/MP3を聞く

CD/MDをリスト表示から選んで聞く

本機では、CD や MD などのタイトルのリストを表示させることができ、ディスクや曲を探すのに便利です。

準備：① 電源を入れる。
② CD/MD を入れる。
③ “CD” または “MD” に切り換える。

● CD のとき

（CD を選ぶ場合）

● MD のとき

CD にタイトルを入力する

CD のみ

リモコンのみ

CD（通常の音楽 CD）では 100 枚分の（ディスク/アーティスト/トラック）タイトルが最大 32 文字入力できます。
1 枚の CD には最大 25 曲分のタイトルが入力できます。

1 TITLE IN 停止中に **押す**

DISC TITLE

4 タイトルを入力する

（☞ 46 ページ）

●入力したタイトルは本機でのみ表示されます。
●入力したディスクタイトルとトラックタイトルは、MD へ録音時にコピーされます。
ただしディスクタイトルは、すでにディスクタイトルが入っている MD にはコピーされません。

リスト表示で曲を探して聞く

タイトルマネージャー

CD **MD**

CD のタイトル（上記）や WMA/MP3、HighMAT、MD のタイトルをリストで探して再生します。
CD では、トレイごとにディスクタイトルも表示されるので便利です。

MDへのタイトル入力については44ページをご参照ください。

1 停止中に
**押して
リストを表示させる**

本体で　リモコンで

■ CD のとき

CD 選択画面　タイトルの入っていない CD

```
1.-- Disc 1 --
2.-- Disc 2 --
3.Hit chart
4.◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
5.◆ No Disc ◆
```

CD が入っていないと表示　CD の情報が認識されていないと表示

■ MD のとき（例：グループがある場合）

グループ選択画面　グループ数

```
Group          1
1 Group1
```

2 押して タイトルの種類や曲番を選ぶ

■ディスクタイトル

DISC TITLE

■アーティストタイトル

ARTIST NAME

■トラックタイトル(曲名) 曲番

TRACK 1
TRACK TITLE

3 押す

カーソル

<ア>

5 押す

“TITLE Write”
が表示されます。

■続けてタイトルを入力する場合
必要に応じて手順 **2** から の操作をくり返します。

■入力を終える場合
TITLE IN
押す
タイトル入力が完了します。

■CD のタイトルを消す

①停止中に EDIT MODE

(“TITLE ERASE?” が表示)

② 消したいタイトルを選ぶ

(入力した全てのディスクタイトルの中から選びます。)

③ (“TITLE ERASE?” と “PRESS ENTER” が交互に表示)

④ “COMPLETE” が表示され タイトルが消去されます。

続けてタイトルを消す場合は [LIST/ENTER] を押して手順②から行う。
操作を終えるには [■ STOP] を押す。

■タイトルを変更する
手順 **1** から行います。

■タイトルを確認する
DISPLAY –LIGHT 数回押す

■途中で解除する STOP

2 聞きたい CD やアルバム、グループ、曲を探して再生する (必要に応じて、下記操作をくり返す)

① 内容を選び

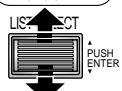
本体で / リモコンで

上下に動かす 押す

② 決定する

本体で / リモコンで

押す 押す

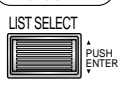
■停止中に 1 つ前の表示に戻る
RETURN または RETURN

■途中で止める
■ STOP –DEMO または STOP

■ CD のとき
聞きたい CD を選ぶ

■ CD-DA (通常の音楽 CD)

■ WMA / MP3
アルバムを選ぶ アルバム数

Album 6
1 ∧

■ HighMAT (☞ 17 ページ手順 **3**)

■ MD のとき
グループを選ぶ (グループがある場合)
全てのトラックタイトルの中から曲を選ぶ場合は “Track LIST” を選ぶ

トラック(曲)を選ぶ 曲数

Track 16
1 Winter
2 Summer
3 Track 3

選んだ曲から再生が始まります。

お知らせ

● 再生中やプログラム/ランダム/1 グループプレイ設定中は、リストを表示させることができません。各設定を解除して、停止中に行ってください。

CD/MD の再生方法を選んで聞く

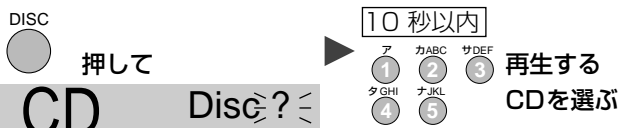
準備：① 電源を入れる。
② CD/MD を入れる。
③ "CD" または "MD" に切り換える。

● CD のとき ▶

● MD のとき ▶

CD の選びかた（共通）

押して
CD Disc?

10 秒以内 ▶ 再生する CDを選ぶ

好きな曲から聞く

ダイレクトプレイ

CD MD

■ CD のとき

再生する CD を選び
（上記参照）
選んだ CD の再生が始まります。

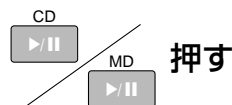
■ MD のとき

好きな曲を選んで予約して聞く

プログラムプレイ

CD MD

好みの数曲や 1 曲だけを選んで、好きな順に聞くことができます。

1 PROGRAM –AREA 停止中に **押す**

2
■ CD のとき
①再生する CD を選び（上記参照）
②好きな曲番を押して予約する（上記参照）

■ MD のとき
好きな曲番を押して予約する（上記参照）

3 CD ▶/II / MD ▶/II **押す**

順不同で全ての曲を聞く

ランダムプレイ

CD MD

CD では再生する CD を選び（上記参照）停止しておく。

停止中に
押して表示を切換え

押すたびに

■ CD のとき

A DISC RANDOM※ → 1 DISC → ALL DISC → 1 DISC RANDOM → A DISC RANDOM

※ WMA/MP3では表示されません。

■ MD のとき

RANDOM → PLAY MODE OFF → 1-GROUP（グループ編集している MD のみ）→ RANDOM

曲番の選びかた（共通）

好きな曲番を押す

■ 10 番以上の曲番を入れるとき

10 以上のとき（例：24）　≧10 → 2 → 4

100 以上のとき（例：235）　≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

好きな曲番を押す
（上記参照）

選んだ曲番から順に再生が始まります。

PGM 0
00

CD Disc 1 ― 選んでいる CD
PGM 1 ― 予約順
04 ― 予約した曲

●続けて予約するときは、この手順をくり返す。（最大 24 曲）
●曲番を選んでも合計再生時間は表示されません。

PGM 8
003 ― 予約した曲
▼
PGM 8 ― 予約順
27：20 ― 合計再生時間

●続けて予約するときは、この手順をくり返す。（最大 24 曲）

予約順に再生が始まります。

■停止する ➡ 再生中に STOP ■（予約内容は保持）

■予約を取り消す ➡ 停止中に STOP ■
（"PROGRAM CLEAR" が表示）

■予約を確認する ➡ 停止中に ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭
（戻る）（進む）

■予約を追加する ➡ 停止中に、手順 **2** を行う。

■通常の再生に戻す ➡ 停止中に PROGRAM –AREA
（予約内容は保持）
プログラムプレイに戻るには手順 **1** と **3** を行う。

お知らせ

●ディスクを取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。
●プログラムプレイ中のサーチは、MD の場合、予約順に行われ、CD の場合、再生中の曲の中だけで行われます。
●WMA / MP3 を選択中に予約を始めても、他のトレイのディスクは選べません。
●CD-DA（通常の音楽 CD）を選択中に予約を始めても、WMA / MP3 の曲は予約できますが再生されません。

■選んだ 1 枚を再生するとき
（1 ディスクランダム）

1 DISC RANDOM

■全ての CD を再生するとき
（オールディスクランダム）

A DISC RANDOM

CD ▶/II **押す**

順不同に再生が始まります。

■ MD を再生するとき

RANDOM

MD ▶/II **押す**

順不同に再生が始まります。

● "RND" が表示されます。

■解除する ➡ 停止中に PLAY MODE –REPEAT 数回押す

•CD の場合は "1 DISC" または "ALL DISC" を選ぶ。
•MD の場合は "PLAY MODE OFF" を選ぶ。

お知らせ

●ランダムプレイ中は、前の曲へスキップできません。
●サーチは、再生している曲の中のみです。
●WMA/MP3を選択中にオールディスクランダムは選べません。
●CD-DA（通常の音楽 CD）を選択中にオールディスクランダムを行っても、WMA / MP3 の曲は再生されません。

CD/MD の再生方法を選んで聞く（つづき）

準備：① 電源を入れる。
② CD/MD を入れる。
③ "CD" または "MD" に切り換える。

● CD のとき

（CD を選ぶ場合）

● MD のとき

再生をくり返す

リピートプレイ

CD MD

PLAY MODE –REPEAT "REPEAT ON" が表示されるまで **長押し**

REPEAT ON

リピートプレイを選んでいると表示　例：プログラムプレイ選択時

タイトルで曲を探して聞く

タイトルサーチ

WMA/MP3

MD

WMA/MP3：ファイル名
MD：トラック名
をカタカナ、アルファベット、数字、記号を入力して検索します。

1 TITLE SEARCH 停止中に **押す**

タイトル入力画面になります。

2 **タイトルを入力して**
（☞ 46 ページ）

押す

検索が始まります。

3 ■さらに曲を探すとき

∨/REW ∧/FF **押す**

4 CD ▶/II / MD ▶/II **押す**

WMA / MP3 をアルバム（フォルダ）ごとに聞く

1 アルバムプレイ

WMA/MP3

1 PLAY MODE –REPEAT 停止中に **押して "1 ALBUM" を選ぶ**

1 ALBUM

"ALB" が表示されます。

押すたびに

1 ALBUM → 1 DISC RANDOM
↑ ↓
ALL DISC ← 1 DISC

■好きな曲を選んでくり返す/1 曲だけをくり返す

プログラムプレイの設定を行う
（ ☞ 20 ページ）

■順不同にくり返す

ランダムプレイの設定を行う
（ ☞ 20 ページ）

長押し（2 秒以上）

■解除する ➡ PLAY MODE –REPEAT 長押し（2 秒以上）
（“REPEAT OFF” が表示）

お知らせ

- CD の “1 DISC” 選択中とMDの “PLAY MODE OFF” 選択中にリピートプレイを選ぶと “REP) ” が表示されます。
- HighMAT で記録されたディスクをプレイリストに合わせて再生する場合、リピートプレイはできません。

■解除する ➡ TITLE SEARCH

または STOP

（“SEARCH OFF” が表示）

大文字、小文字やスペースなどは区別して検索されるので正確に入力します。

例：「ナツ　ベスト」を検索する

ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ　　<ｱ>

SEARCH

曲が見つかると

TRACK 10
FIND
ﾅﾂ ﾍﾞｽﾄ

例：MD

お知らせ

- 前回入力したタイトルは記憶されています。不要なタイトルが表示されたときは、[DEL]を押して消し、新しいタイトルを入力します。
- 最大 14 文字まで入力できます。濁点（ﾞ）や半濁点（ﾟ）も 1 文字になります。
- 正確なタイトルがわからない場合は 1 文字からでも検索できます。

前または次の曲を検索します。

検索した曲から再生します。

2 ALBUM/GROUP 押してアルバムを選ぶ

3 CD ▶/II 押す

再生が始まります。

■解除する ➡ 停止中に PLAY MODE –REPEAT 数回押す

“1DISC” または “ALL DISC” を選ぶ。

■アルバムを前後に飛ばす ➡ ALBUM/GROUP

聞く

CD／MDの再生方法を選んで聞く（つづき）

MD をグループで聞く

MD に録音した曲を、連続した曲ごとに、ひとかたまりのグループとして管理できます。

準備：① 電源を入れる。
② 編集したい MD を入れる。
③ "MD" に切り換える。

■途中で止める ➡ STOP

お知らせ

●グループにできるのは、連続した曲（例：1 曲目～ 10 曲目）のみです。
●1 曲だけでもグループにできますが、1 曲を複数のグループに入れることはできません。
●グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
●グループは最大 99 個まで作れます。
（UTOC エリアの空き状況により異なります）

曲をグループにまとめる

例：曲番 3 から 5 までをひとつのグループにする。

1 停止中に **押して "GROUP EDIT?" を選び**

▼

 押す

2 **押す**

3 **押して グループ先頭の曲番を選び**

▼

 押す

4   **押して グループ最後の曲番を選び**

▼

 押す

5 **グループの名前を付けて**
（☞46 ページ）

▼

  押す

曲をグループごとに聞く

1 グループプレイ

1 停止中に **押して "1-GROUP" を選ぶ**

1–GROUP

"GRP" が表示されます。

押すたびに

1-GROUP → RANDOM → PLAY MODE OFF → **1-GROUP**

GROUP EDIT?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?→ MOVE?
↑ ↓
GROUP EDIT?← TITLE STATION?← COMBINE?

GROUP SET?

GROUP SETTING
–?~ –

3?~ –

3?~ 3?

3?~ 5?

UTOC Writing
点滅後、グループ編集が完了。

■グループの名前を変更する

① 停止中に EDIT MODE “GROUP EDIT?” を選び → LIST/ENTER

② V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ “TITLE INPUT?” を選び → LIST/ENTER

③ V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ グループを選び → LIST/ENTER

④ グループの名前を変更する。(☞ 46 ページ)

⑤ LIST/ENTER “UTOC Writing” (点滅後、名前が変更)

■ひとつのグループを解除する

① 停止中に EDIT MODE “GROUP EDIT?” を選び → LIST/ENTER

② V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ “RELEASE?” を選び → LIST/ENTER

③ V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ 解除したいグループを選び → LIST/ENTER

④ LIST/ENTER “UTOC Writing” (点滅後、選んだグループが解除)

■すべてのグループを解除する

① 停止中に EDIT MODE “GROUP EDIT?” を選び → LIST/ENTER

② V/REW ⏮ Λ/FF ⏭ “ALL RELEASE?” を選び → LIST/ENTER

③ LIST/ENTER “UTOC Writing” (点滅後、すべてのグループが解除)

2 ALBUM/GROUP
押して グループを選び
▼
MD ▶/II **押す**
再生が始まります。

■解除する

停止中に PLAY MODE –REPEAT 数回押す
“PLAY MODE OFF” を選ぶ。

■グループを飛ばす
(グループスキップ)

ALBUM/GROUP グループを選ぶ。

■1 グループをくり返す(1 グループリピート)

① 1 グループプレイの設定を行う。(左記参照)

② PLAY MODE –REPEAT “REPEAT ON” が表示されるまで長押し
もう一度長押しすると解除されます。
(“REPEAT OFF” が表示)

③ MD ▶/II 再生が始まります。

聞く

MDをグループで聞く

テープを聞く

再生できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）※	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）※	○

※ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが再生することはできます。

準 備

電源

1 テープを入れる

2 再生する

3 テープの反転方法を選ぶ

音量を調節する

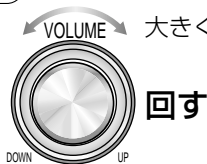
本体で

小さくなる　VOLUME　大きくなる

回す

リモコンで

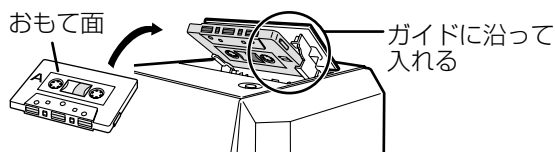
小さくなる　VOL − 押す

大きくなる　VOL + 押す

VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

■停止する

■巻戻し/早送りする

■テープを取り出す

上手に使いこなすには、59ページ「テープ について」をお読みください。

テープのたるみを取る。

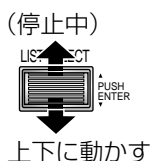
押してホルダーを開けテープを入れる

(電源が入る)

手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面 "F▷" になります。

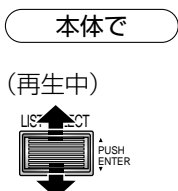
押す

再生が始まります。

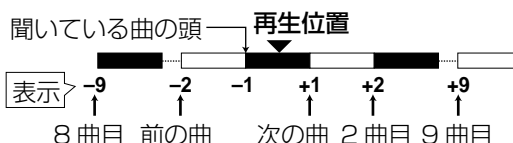
●すでにテープが入っているときに手順2を行うと、自動的に電源が入り、電源を切る前に進んでいた方向で再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

押すたびに
◁R(うら面を再生) ⇄ F▷(おもて面を再生)

リモコン

押してテープのリバースモードを選ぶ

押すたびに

⇄	片面だけ再生して自動停止
⇄)	おもて面 → うら面を再生して自動停止
(⇄)	両面をくり返し再生

本体で	リモコンで
■ STOP –DEMO 押す	STOP 押す
(停止中) LIST SELECT PUSH ENTER 上下に動かす	(停止中) ∨/REW ∧/FF 押す
OPEN ▲ 押す	操作できません

■曲を前後に飛ばす
(Tape Program Sensor-TPS 機能)

本体で	リモコンで
(再生中) LIST SELECT PUSH ENTER 上下に動かす	(再生中) ∨/REW ∧/FF 押す

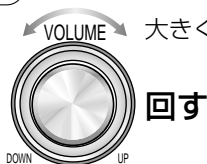
(次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能)

TPS機能は、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため以下のような場合、正しく動作しないことがあります。
●曲間が短い
●曲間に雑音がある
●曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

電源

POWER

準　備
1 FM/AM を選ぶ
2 放送局の探しかたを選ぶ
3 放送局を探す

音量を調節する

本体で

小さくなる　VOLUME　大きくなる

回す

リモコンで

小さくなる　大きくなる

VOL − 押す　VOL + 押す

VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。

■自動選局する
（オートチューニング）
リモコンのみ

■ FM ステレオ放送で雑音が多いとき
リモコンのみ

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナを必ず接続してください。（☞ 8ページ）
接続しないと放送を受信できません。

FM/AM/EXT

押して“FM”または“AM”を選ぶ

押すたびに
FM → AM → AUX → P-MD

FM
76.0 MHz

●電源が入り、FM または AM を受信します。（ワンタッチプレイ）

リモコン
PLAY MODE –REPEAT

押して“MANUAL”を選ぶ

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

リモコン
∨/REW ∧/FF

押して周波数を合わせる

FM
TUNED STEREO
88.1 MHz

STEREO — FM ステレオ放送を受信すると表示
MHz — 周波数

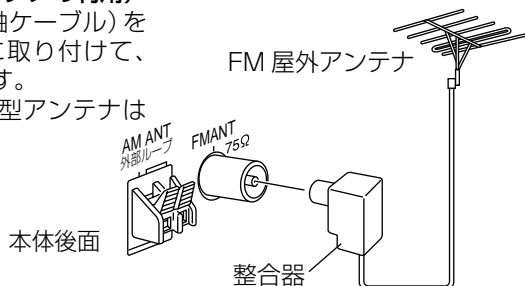
テレビの受信位置は

FM 76.0 MHz	←→	FM 90.0 MHz
TV 3ch	TV 2ch	TV 1ch

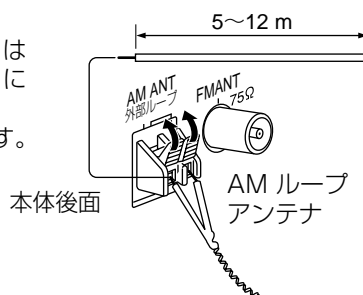
∨/REW ① 周波数が動き始めるまで
長押し
∧/FF ② 動き始めたら
指を離す

放送を受信すると止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

PLAY MODE –REPEAT “MONO”と表示するまで
長押し

長押しのたびに
MONO ⇄ STEREO
（通常は“STEREO”にします）

屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）
アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール線）
付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

聞く
ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、
簡単な操作で聞くことができます。
（FM／AM 各 15 局まで）

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 PROGRAM –AREA ラジオ受信中に
長押し
（2 秒以上）

AREA 11
トウキョウケン

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの放送局を記憶することができます。

1 FM/AM/EXT **押して "FM" または "AM" を選ぶ**

押すたびに
FM → AM → AUX → P-MD

4 PROGRAM –AREA **押す**

PGM –

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1 FM/AM/EXT

押して "FM" または "AM" を選ぶ
（TV 音声は "FM"）

押すたびに
FM → AM → AUX → P-MD

エリアバンク（2003 年 12 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松／岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

2 ∨/REW ∧/FF **押して、エリア番号**（左記参照）**を選び**

エリア番号

AREA 11
トウキョウケン

数字ボタンでエリア番号を選ぶこともできます（下記参照）

3 LIST/ENTER **押す**

放送局が各チャンネルに記憶されます。

最初の放送局名　チャンネル

FM 1
Inter FM
76.1 MHz

最初の周波数

■途中で解除する ➡ STOP

2 PLAY MODE –REPEAT **押して "MANUAL" を選ぶ**

MANUAL

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

3 ∨/REW ∧/FF **押して周波数を合わせる**

■途中で解除する ➡ PROGRAM –AREA

5

10 秒以内

押してチャンネルを選ぶ（下記参照）

チャンネル

FM 1

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。
続けて記憶させるには手順 3-5 をくり返す

2 PLAY MODE –REPEAT **押して "PRESET" を選ぶ**

PRESET

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

3 ∨/REW ∧/FF **押してチャンネルを選ぶ**

選んだチャンネルの放送局を受信します。

チャンネル

FM 1
Inter FM
76.1 MHz

お知らせ

●エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名と周波数が表示されます。
●数字ボタンでチャンネルを選ぶこともできます。（下記参照）

エリア番号/チャンネルの選びかた

選んだエリア番号やチャンネルを押す

■ 10 以上の選びかた

（例： 12） ≧10 → 1 → 2

聞く

放送局を記憶させて聞く

CDをMDに録音（通常/高速録音）

準　備

1 CDを入れる

2 LPモードを変更する

3 録音方法を選ぶ

4 通常/高速で録音する

電源

MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

SP/LP2/LP4モード

SP　：通常ステレオ録音モード
LP2　：ステレオ長時間（2倍）録音モード
LP4　：ステレオ長時間（4倍）録音モード

録音できる時間の違い

ディスクの種類 ＼ LPモード	SP	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

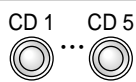
- 本機でLP2またはLP4モード録音した曲は、MD**LP**に対応した機器以外では再生できません。
- LP4モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視する録音を行うときは、SPモードまたはLP2モードをおすすめします。
- カーオーディオがMD**LP**に対応していないときはSPモードで録音してください。

■気に入った曲をすぐ録音する（CD追っかけ録音）

CD再生中に[●/II REC]を押しながら[MD]を押す。
曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CDを一時停止し[●/II REC]を押しながら[MD]を押す。

■停止する ➡

■MDの残り時間が知りたい ➡
リモコンのみ

MD を上手に使いこなすには、58 ページ「MD について」をお読みください。
録音用 MD を入れる。(☞15 ページ)
(“MD” を選んでいるとき、何も録音されていない MD を入れると、“BLANK DISC” と表示されます。)

好みのトレイを選び押す (電源が入る)

押してトレイを開けて CD を入れる

閉めるには、もう 1 度押す。

SP/LP

押して SP/LP2/LP4 モードを選ぶ

(☞ 左記「MD**LP** について」)

リモコン

でも選ぶことができます。

停止中に

押して “1 DISC” または “ALL DISC” を選ぶ

押すたびに

■ 1 枚の CD を録音するとき
(1 ディスク録音)

1 DISC

■複数の CD を連続録音するとき
(オールディスク録音)

ALL DISC

“A–D” が表示されます。

リモコン
REC

押しながら

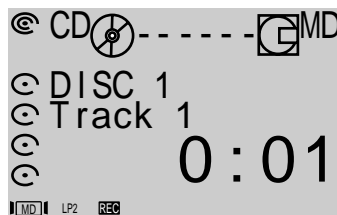
■通常の録音を行うとき

MD
–HI-SPEED
CD▶MD

押す

■高速録音(☞ 36 ページ)を行うとき

MD
–HI-SPEED
CD▶MD

長押し (2 秒以上)
“HI-SPEED” が表示され高速録音が始まります。

点灯

●選んだ CD の 1 曲目から録音が始まります。
(CD の再生が終わると、MD も自動停止)

押す

UTOC Writing

(点滅後完了)

DISPLAY
–LIGHT

数回押す

MD
-60:04

SP/LP2/LP4 の各モードによって残り時間も変わります。

お願い

● **“PLEASE WAIT ○○ MIN.” (○○は数字) が表示されたときは** (☞ 37 ページ)
○○分 (○○は数字) 待ってから高速録音するか通常の録音を行ってください。

お知らせ

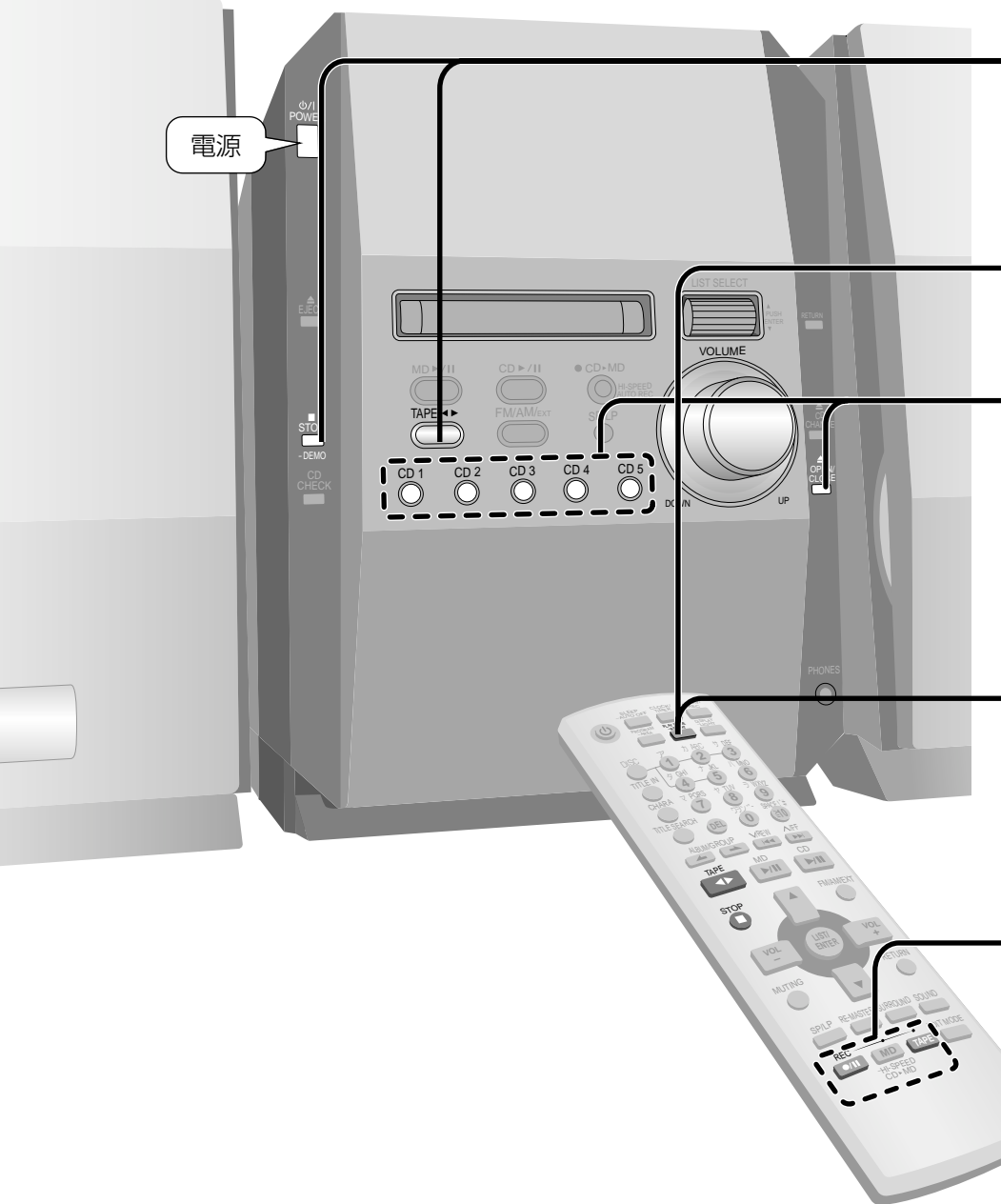
●録音中は、一時停止できません。
●WMA / MP3 は自動的にアナログ録音になります。
●選択中のディスクが WMA / MP3 の場合、オールディスク録音を行っても他のトレイのディスクは録音できません。
●選択中のディスクが CD-DA (通常の音楽 CD) の場合、オールディスク録音を行っても WMA/MP3 の曲は録音されません。

CD をテープに録音

録音できるテープ

NORMAL POSITION／TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION／TYPE Ⅱ（ハイポジション）	×
METAL POSITION／TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

●ハイポジションテープ、メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

準　備

1
テープモードにする

2
テープの反転方法を選ぶ

3
CD を入れる

4
録音方法を選ぶ

5
録音する

■気に入った曲をすぐ録音する（CD 追っかけ録音）
CD 再生中に [●/❚❚ REC] を押しながら [TAPE] を押す。
曲の始めに戻り、最後の曲まで順に録音して停止します。
曲の途中から録音したい場合は、CD を一時停止し [●/❚❚ REC] を押しながら [TAPE] を押す。

■停止する ➡

■一時停止する ➡
リモコンのみ

テープを上手に使いこなすには、59ページ「テープについて」をお読みください。

リーダーテープ部を巻きとる

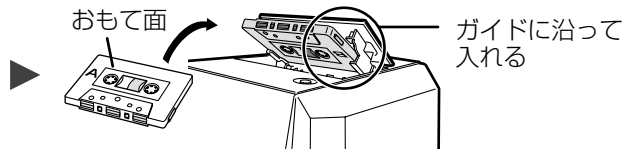
録音できる
録音できない
（リーダーテープ部）

▶

録音用テープを入れる（☞ 27ページ）

TAPE ◄►

押して
“TAPE” を選ぶ
（電源が入る）

▶ ■ STOP –DEMO 押して停止させておく。

リモコン
PLAY MODE –REPEAT

押してテープの
リバースモードを選ぶ

押すたびに

⇄	片面だけ録音して自動停止
⇄⊃ (⇄⊃)	おもて面 → うら面を録音して自動停止

CD 1 … CD 5
好みのトレイを
選んで押す

▼

OPEN/ CLOSE
押してトレイを開けて
CDを入れる

閉めるには、もう1度押す。

リモコン
PLAY MODE –REPEAT
停止中に
押して“1 DISC”
または“ALL DISC”
を選ぶ

押すたびに

1 DISC → ALL DISC ↓ 1 DISC RANDOM → A DISC RANDOM → 1 DISC

■1枚のCDを録音するとき
（1ディスク録音）

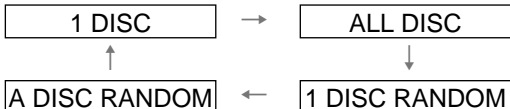
1 DISC

■複数のCDを連続録音するとき
（オールディスク録音）

ALL DISC

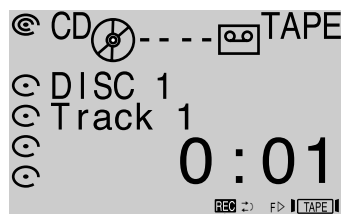
“A–D” が表示されます。

リモコン
REC
押しながら

▼

TAPE

押す

選んだCDの1曲目から録音が始まります。
（CDの再生が終わると、テープも自動停止）

点灯

手順2で⇄⊃を選んでいても、⇄⊃に変わります。

STOP 押す

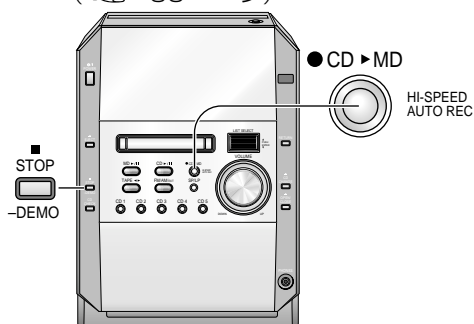
REC 押しながら TAPE 押す （“REC” が点滅）

（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

■テープのうら面に録音する

①テープを入れる
② TAPE 2回押して ▶ STOP 押す
テープの走行方向が “◁R” になります。
③録音する（上記参照）

5CD イッキ録り／好きな曲を選んで録音

準備：①電源を入れる。
②CD／MD を入れる。
③録音用 MD／テープを入れる。
● MD に録音時
SP／LP2／LP4 モードを選ぶ。
（☞ 33 ページ）
●テープに録音時
テープのリバースモードを選ぶ。
（☞ 35 ページ）

5CD イッキ録り 高速録音

CD → MD

ワンタッチですべての CD を CD1 から順に、MD へ高速録音します。イッキ録りした曲は、各 CD 単位でグループとして録音されます。

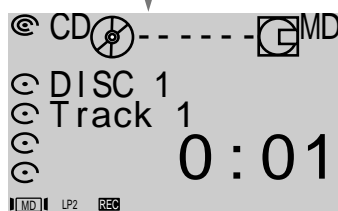
停止中に
押す

“CD ▷ MD HI-SPEED AUTO REC”が表示されます。

▼

すべての CD の情報が確認されます。

▼

CD - - - - - - MD
DISC 1
Track 1
0:01
MD LP2 REC

録音が始まります。

好きな曲を選んで録音する

プログラム録音

リモコンのみ

好みの数曲や 1 曲だけを選んで録音するのに便利です。

CD → MD

CD →テープ

MD →テープ

■ CD から録音する

■ MD から録音する

■停止する

■ MD の残り時間を知る

数回押す

CD から MD の高速録音について

操作方法については（☞ 32 ページ 手順 4）
CD から MD へ最大 6 倍速（CD-RW は 2 倍速）で録音します。
74 分の CD の場合、約 14 分で録音が完了します。
ディスクや条件によっては、6 倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常の録音を行ってください。
次の場合に、高速録音できません。

- WMA／MP3 を録音するとき
- プログラム録音するとき
- リピートプレイで録音するとき
- ランダムプレイで録音するとき
- CD 再生中に録音するとき
- アナログに切り換えて録音するとき

高速録音について

お知らせ

●全曲ではなく、途中の曲までしか録音ができない場合、録音できる範囲が約 6 秒間表示されます。
(例)“DISC 5 TRACK 10　マデロクオンカノウ”
これは 5 枚目の CD の 10 曲目まで録音できることを表しています。
表示中に、[■ STOP −DEMO] を押すと 5CD イッキ録りを解除できます。SP/LP2/LP4 モードを選び直すことで全曲録音できる場合があります。

“PLEASE WAIT ○○ MIN.”(○○は数字) が表示された場合は○○分 (○○は数字) 経過してから 5CD イッキ録りしてください（下記参照）

お知らせ

●プログラム録音では高速録音できません。通常の録音になります。

高速録音の制限について

本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。

録音終了から 74 分経過しないと、同じ CD を高速録音できません。

●録音を途中で止めたときでも、続けて同じ CD は高速録音できません。(通常の録音はできます。)

一度に 24 枚まで録音できます。

●約 74 分以内にそれぞれ異なる 24 枚の CD は高速録音できますが、25 枚目の高速録音はできません。

さらに高速録音しようとして“PLEASE WAIT ○○ MIN.”(○○は数字) が表示されたときは、○○分待ってから高速録音してください。

お知らせ

●高速録音時に音声は聞こえません。

テープ ⇄ MDに録音／ラジオを録音

準備：①電源を入れる。
②録音用 MD／テープを入れる。
● MD に録音時
SP／LP2／LP4 モードを選ぶ。
（☞ 33 ページ）
●テープに録音時
リバースモードを選ぶ。
（☞ 35 ページ）

■停止する ➡ STOP

■ MD の残り時間を知る ➡ DISPLAY –LIGHT 数回押す

テープを MD に録音する

テープ → MD

1 TAPE 押して
▼
STOP 押す

MD をテープに録音する

MD →テープ

1 MD 押して
▼
STOP 押す

ラジオを MD に録音する

ラジオ→ MD

1 ラジオ（またはテレビ）放送を受信する
（☞ 29 ページ）

ラジオをテープに録音する

ラジオ→テープ

1 ラジオ（またはテレビ）放送を受信する
（☞ 29 ページ）

MDにトラックマーク（曲の切れ目）を付けるには

MDには、トラックマークを付けることができます。
テープやラジオからの録音に便利です。

EDIT MODE

録音中に
好みの位置で押す

"TRACK MARKING"と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

■録音後に曲を分けるには

MD編集「ディバイド」（☞ 40ページ）で曲を分けます。

2 EDIT MODE **押して録音モードを選ぶ**

MANUAL

押すたびに
MANUAL（マニュアル）（通常の録音モード）
↑↓
TIME MARK（タイムマーク）
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 REC ●/II **押しながら**

▼

MD –HI-SPEED CD▶MD **押す**

録音が始まります。

■一時停止する

REC ●/II 押しながら

▼

MD –HI-SPEED CD▶MD 押す

トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度同じ操作を行う）

2 REC ●/II **押しながら**

▼

TAPE **押す**

録音が始まります。

■一時停止する

REC ●/II 押しながら TAPE 押す

MDは一時停止し、テープは録音待機状態になります。
（再開するには、もう一度同じ操作を行う）

2 EDIT MODE **押して録音モードを選ぶ**

MANUAL

押すたびに
MANUAL（マニュアル）（通常の録音モード）
↑↓
TIME MARK（タイムマーク）
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 REC ●/II **押しながら**

▼

MD –HI-SPEED CD▶MD **押す**

録音が始まります。

■一時停止する

REC ●/II 押しながら

▼

MD –HI-SPEED CD▶MD 押す

トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度同じ操作を行う）

お知らせ

● エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局の名前が曲の名前（トラックタイトル）として記録されます。

2 REC ●/II **押しながら**

▼

TAPE **押す**

録音が始まります。

■一時停止する

REC ●/II 押しながら TAPE 押す

（再開するには、もう一度同じ操作を行う）

MDを編集する

上手に使いこなすには、58ページ「MDについて」をお読みください。

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナルMDが作れます。(録音用MDのみ)
グループ編集(☞ 24ページ)しているMDを編集すると、編集内容に応じてグループ管理情報も更新されます。

準備：① 電源を入れる。
② 編集したいMDを入れる。
③ "MD"に切り換える。

■途中で解除する ➡

曲をつなぐ

コンバイン

1 EDIT MODE
停止中に
押して"COMBINE?"を選び

COMBINE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP EDIT? MOVE?
↑ ↓
TITLE STATION? ← **COMBINE?**

▼

押す

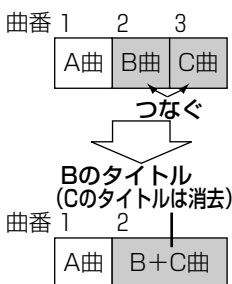
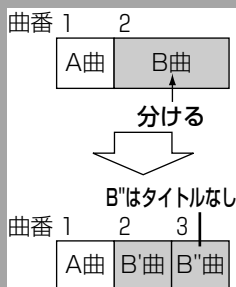
－＋ －?

曲を分ける

ディバイド

1 EDIT MODE
分ける曲の再生中に
押して"DIVIDE?"を選ぶ

DIVIDE?

押すたびに
TRACK ERASE? → MOVE?
↑ ↓
DIVIDE? ← COMBINE?

曲を移動する

ムーブ

1 EDIT MODE
停止中に
押して"MOVE?"を選び

MOVE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP EDIT? **MOVE?**
↑ ↓
TITLE STATION? ← COMBINE?

▼

押す

－?→ －－－

2

∨/REW ∧/FF

押して
つなげたい連続した曲の組み合わせを選び

2+　　　3?

▼

押す

PRESS　ENTER
　　　2 ＋　　3

“COMBINE” と “PRESS ENTER” が交互に表示されます。

3

押す

UTOC　Writing

点滅後、編集が完了。

お知らせ

- コンバインは、つなげたい後ろの曲の再生中でもできます。
- 異なるモード（SP/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲はつなげません。

2

LIST/ENTER

分けるおおよその位置で
押す

POSITION +000?

分けた位置からの約４秒間をくり返し再生します。

3

∨/REW ∧/FF

押して
位置を調整する

POSITION +006?

前後約８秒間まで調節できます。
数値は −128 から ＋127 の範囲で表示されます。

4

押す

UTOC　Writing

点滅後、編集が完了。
（分けた位置にトラックマークが１つ増えます。）

2

∧/FF

押して移動する曲を選び

1? → −−−

▼

押す

1 →　　−?

3

押して移動先を選び

1 →　　3?

▼

押す

PRESS　ENTER
　　　1 →　　3

“MOVE” と “PRESS ENTER” が交互に表示されます。

4

押す

UTOC　Writing

点滅後、編集が完了。

お知らせ

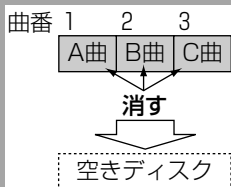
- ムーブは、移動する曲の再生中でもできます。

MDの曲を消す

上手に使いこなすには、58ページ「MDについて」をお読みください。

準備：① 電源を入れる。
② 消したい曲の入ったMDを入れる。
③ “MD” に切り換える。

曲を選んで消す

トラックイレース

1 EDIT MODE
停止中に
押して “TRACK ERASE?” を選び

TRACK ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP EDIT? MOVE?
↑ ↓
TITLE STATION? ← COMBINE?

▼

押す

–?

全曲を消す

オールイレース

1 EDIT MODE
停止中に
押して “ALL ERASE?” を選び

ALL ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? → **ALL ERASE?**
↑ ↓
GROUP EDIT? MOVE?
↑ ↓
TITLE STATION? ← COMBINE?

▼

押す

ALL ERASE OK?

PRESS ENTER

■途中で解除する ➡ STOP

2 ∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ 押して 消したい曲を選び

選んだ曲

2?

▼

LIST/ENTER **押す**

PRESS ENTER

2

選んだ曲

“TRACK ERASE” と “PRESS ENTER” が交互に表示されます。

続けて曲を消す場合は、上記操作をくり返す

- 1 度に 24 曲まで消せます。(超えると “SELECT OVER” と表示)
- [LIST/ENTER] を押して確定していない曲は [■ STOP] を押して取り消すことができます。

3 LIST/ENTER 押す

UTOC Writing

点滅後、編集が完了。

お知らせ

- トラックイレースは、消したい曲の再生中でもできます。

2 押す

UTOC Writing

点滅後、“BLANK DISC” になり、編集が完了します。

MD にタイトルを付ける

1 枚の録音用 MD には、最大約 1700 文字（カナ文字では約半分の文字数）まで入力できます。
下記タイトルごとに最大100 文字（LP2/LP4 で録音した曲名の場合は最大 97 文字）まで入力できます。

- ディスクの名前（ディスクタイトル）
- グループ名（グループタイトル）
- 曲名（トラックタイトル）

準備：① 電源を入れる。
② タイトルを付けたい MD を入れる。
③ “MD” に切り換える。

■途中で解除する ➡ TITLE IN

入力モードが解除されます。
ただし、すでに [LIST / ENTER] を押して確定したタイトルは記録されています。もう一度[TITLE IN]を押すと、最初からタイトル入力/修正できます。

お知らせ

- LP2/LP4 で録音したり、グループの設定を行った場合、入力できる文字数は減ります。例えば、LP2/LP4 で録音した 50 曲にタイトルを入力する場合、1 曲あたり約 25 文字（カナ文字で約 11 文字）になります。
- 入力途中で録音/再生が終わった場合、入力モードは解除されます。ただし、すでに [LIST/ENTER] を押して確定したタイトルや入力途中の文字も含めたタイトルは記録されています。

録音済み MD にタイトルを付ける（ディスク / トラックタイトル）

1 TITLE IN 押す

DISC TITLE

イッキ録り中にタイトルを付ける（グループ / トラックタイトル）

イッキ録り中は、すべてのグループやトラックタイトルを付けることができます。

1 TITLE IN イッキ録り中に 押す

グループタイトル入力画面になります。

GROUP TITLE?
■ <ア>

録音中または MD 再生中にタイトルを付ける（トラックタイトルのみ）

1 TITLE IN 録音中または MD 再生中に 押す

トラックタイトル入力画面になります。

G. 1 T. 1
■ <ア>

---

2 グループタイトルを入力して

（☞ 46 ページ）

▼

押す

次のグループタイトル入力画面になります。

● この操作をくり返し、最後のグループタイトルを入力する。

3

押す

トラックタイトル入力画面になります。

グループ番号　トラック番号

G. 1　T. 1

<ア>

複数の CD のトラックタイトルを順番に入力します。

4 トラックタイトルを入力して

（☞ 46 ページ）

押す

すべてのトラックタイトルの入力終了後“WRITE”と表示され通常の表示に戻ります。

お知らせ

● タイトルを入力しなくても [LIST/ENTER] を押すと次のタイトルに進むことができます。

---

2 タイトルを入力して

（☞ 46 ページ）

▼

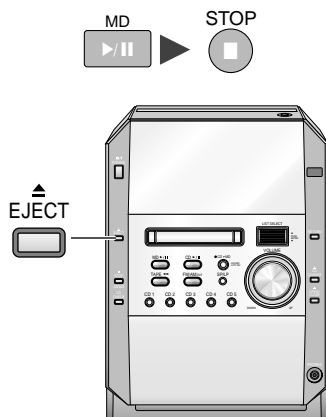
押す

タイトルが確定され、通常の表示に戻ります。

お知らせ

● 再生中にタイトルを付けた後は、MD 編集できません。
編集する時は、[■ STOP] を押して、“UTOC Writing” の点滅後に行ってください。

文字入力のしかた

準備：① 電源を入れる。
　　　② “MD” に切り換える。

他の MD にタイトルをコピーする

タイトルステーション

MD のディスク/トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。入力の手間が省けて便利です。

コピー元の MD を入れる

1 EDIT MODE 停止中に
押して “TITLE STATION?” を選ぶ

TITLE STATION?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE STATION? → GROUP EDIT? → TRACK ERASE?

4 EJECT 押して
コピー元の MD を取り出す

INSERT MD

文字入力のしかた リモコンのみ

タイトル入力画面（☞ 18、24、44 ページ）にした後、入力します。

1 CHARA 押して文字の種類を選ぶ

押すたびに
カナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>
続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2

押して文字を選ぶ

A <A>

選んだ文字が表示されます。

3

押す

文字が確定され、次の文字が入力できます。

2 押す

TITLE STATION?
▼▲
PRESS ENTER

3 押す

MEMORY
▼
COMPLETE
▼
EJECT MD

5 コピー先の MD を入れる

Write OK?
▼▲
PRESS ENTER

6 押す

UTOC Writing

点滅後、タイトルのコピーが完了。

■途中で解除する ➡ STOP

お知らせ

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD 1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に“LP：”と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。

■入力を途中で止める ➡ STOP

ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは残ります。

■゛ ゜ —を入力する ➡ ワヲン゛゜- 0 数回押す

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■記号を入力する ➡ SPACE!"# ≧10

押すたびに下の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `

␣ は空白を表しています。

■入力済みの文字を変更する

ALBUM/GROUP ◀ ▶ 押して変更する文字にカーソルを合わせる。

- 文字を訂正する
  DEL 押して文字を消してから新しい文字を入力する。
- 文字を削除する ➡ DEL

■文字の間に新しい文字や空白を入れる

ALBUM/GROUP ◀ ▶ 挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる。

- 文字を挿入する
  新しい文字を入力して GROUP ▶
- 1 文字あける

SPACE!"# ≧10 押して“␣（空白）”を選び GROUP ▶

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ	アルファベット		数字
	<ア>	大文字 <A>	小文字 <a>	<1>
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜- 0	ワヲンー			0

使いこなす

時計を合わせる/タイマーを使う

準備：電源を入れる。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。
例 :火曜日の 16 時 25 分(午後 4 時 25 分)に合わせる。

1 CLOCK/TIMER

押して “CLOCK – – : – –” を選ぶ

CLOCK –– : ––

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC
└──元の表示──┘

おめざめ タイマーを使う

設定した曜日 / 時刻に好みのソース（音源）を演奏します。

表示例：

金曜日の 6 : 30 ～ 7 : 40 まで好みのソースを演奏する場合

時計を合わせておく。(上記参照)

1 CLOCK/TIMER

2 回押して “◴PLAY” を選ぶ

◴PLAY SUN 0 : 00 →→ 0 : 00 ◴PLAY

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC
└──元の表示──┘

手順 2 で曜日を選ばずに約 10 秒経過すると元の表示に戻ります。

3 ① **ソース（音源）を演奏し**

CD ▶/II　FM/AM/EXT

TAPE ◀▶　MD ▶/II

② **音量を調節し**

③ **CD ・ MD ・テープは再生を止める**

STOP

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN （日曜）
↓↑
MON （月曜）
↓↑
TUE （火曜）
↓↑
WED （水曜）
↓↑
THU （木曜）
↓↑
FRI （金曜）
↓↑
SAT （土曜）
↓↑
SUN to SAT （毎日）
↓↑
MON to SAT （月曜～土曜）
↓↑
MON to FRI （月曜～金曜）
↓↑
SAT , SUN （土曜と日曜）

2
∨/REW ∧/FF [10 秒以内]
押して曜日を選び

TUE

SUN（日曜）	THU（木曜）
MON（月曜）	FRI（金曜）
TUE（火曜）	SAT（土曜）
WED（水曜）	

元の表示に戻ったときは、
手順 **1** からやり直してください。

▼

CLOCK/TIMER **押す**

3
∨/REW ∧/FF
押して時計を合わせて

TUE 16:25

押し続けると時刻表示が連続して変化します。

▼

CLOCK/TIMER **押す**

時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

■電源「切」時に時計を確認する

DISPLAY –LIGHT （約 10 秒間表示）

時計表示は電源「切」のとき消えています。

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したりしたときは、もう 1 度設定してください。
- [■ STOP] を押すと途中で解除できます。

2 曜日 / 開始時刻 / 終了時刻を設定する

∨/REW ∧/FF **押して内容を選び**

CLOCK/TIMER **押して決定する**

① **曜日を選ぶ**（左下参照）

FRI

② **開始時刻を選ぶ**

6:30 →→ 0:00 ▶ 6:30 →→ 6:30

③ **終了時刻を選ぶ**

6:30 →→ 7:40

[■ STOP] を押すと途中で解除できます。

4
◴PLAY/REC
押して “◴PLAY” を選ぶ

◴PLAY

押すたびに
◴PLAY → ◴REC MD → ◴REC TAPE
↑ （留守録タイマー設定時のみ）
TIMER-OFF（解除）←

5
押して電源を切る

設定した曜日/時刻になると、電源が入り、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して演奏します。
（動作中は“◴PLAY”が点滅）
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

電源を切らないとタイマーが動作しません。

■解除する

◴PLAY/REC 数回押して “◴PLAY” を消す

■電源「切」時に設定内容を確認する

CLOCK/TIMER （約 10 秒間表示）

■設定内容を変える

①電源を入れる
② ◴PLAY/REC 数回押して “◴PLAY” を消す
③最初からやり直す
（演奏内容だけを変えたい場合は手順 **3-5** を行う）

■タイマー設定後に演奏を楽しむ

演奏後に電源を切ると、再びタイマーが働きます。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

■別売り機器を使ってタイマー設定をする

①手順 **3** で [FM/AM/EXT] を押して “AUX” にする
②接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定する

■好みの曲でタイマー設定する

手順 **3** でプログラム予約する
（☞ 20 ページ）

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

タイマーを使う（つづき）

準備：電源を入れる。

留守録タイマーを使う

設定した曜日/時刻にラジオ放送などを録音します。
表示例：
土曜日の 18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合

- 時計を合わせておく。（☞ 48 ページ）
- 録音用 MD/テープを入れる。

1 CLOCK/TIMER **3 回押して“◴REC”を選ぶ**

◴REC
SUN
0:00 →→ 0:00

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC
↑――元の表示――┘

手順 **2** で曜日を選ばずに、約 10 秒経過すると元の表示に戻ります。

3 FM/AM/EXT ∨/REW ∧/FF

放送局を受信する
（☞ 29 ページ）

MD に録音時、必要に応じて設定します。
- SP/LP2/LP4 モード
（☞ 33 ページ）
- 録音レベル
（☞ 54 ページ）
- 録音モード
（☞ 39 ページ）

設定した時点での内容が記憶されます。

タイマーに使う曜日の切り換え

→ SUN （日曜）
↓↑
MON （月曜）
↓↑
TUE （火曜）
↓↑
WED （水曜）
↓↑
THU （木曜）
↓↑
FRI （金曜）
↓↑
SAT （土曜）
↓↑
SUN to SAT（毎日）

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると再生を停止し、自動的に電源が切れます。

SLEEP –AUTO OFF ソース（音源）を聞きながら **押して再生時間を指定する**

SLEEP 30

押すたびに （単位：分）
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120
↑
OFF（解除） ←――┘

2 曜日 / 開始時刻 / 終了時刻を設定する

∨/REW ∧/FF 押して内容を選び ▶ CLOCK/TIMER 押して決定する

①**曜日を選ぶ**（左下参照）

SAT

②**開始時刻を選ぶ**

18:30 →→ 0:00 ▶ 18:30 →→ 18:30

③**終了時刻を選ぶ**

18:30 →→ 20:00

[■ STOP] を押すと途中で解除できます。

4 押して “◴REC MD” または “◴REC TAPE” を選ぶ

◴PLAY/REC

◴REC MD

◴REC

押すたびに
◴ PLAY → ◴ REC MD
（おめざめタイマー設定時のみ）
↑ ↓
TIMER-OFF（解除）← ◴ REC TAPE

5 押して電源を切る

頭切れ防止のため、設定した曜日 / 時刻の 30 秒前になると電源が入り、録音が始まります。
（動作中は “◴REC” が点滅）
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

電源を切らないとタイマーが動作しません。

■解除する

◴PLAY/REC 数回押して “◴REC” を消す

■電源「切」時に設定内容を確認する

CLOCK/TIMER（約 10 秒間表示）

■設定内容を変える

①電源を入れる
② ◴PLAY/REC 数回押して “◴REC” を消す
③最初からやり直す

■タイマー設定後に演奏を楽しむ

演奏後に電源を切ると、再びタイマーが働きます。
音量やソースを変更しても、設定内容には影響しません。

■別売り機器を使ってタイマー設定をする

①手順 **3** で [FM/AM/EXT] を押して “AUX” にする
②接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定する

お知らせ

●録音時、音量は自動的に最小になります。
●留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
●タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

■途中で解除する ➡ SLEEP –AUTO OFF “ OFF” を選ぶ

■残り時間を確かめる ➡ SLEEP –AUTO OFF 1 回押す

■残り時間を変える ➡ SLEEP –AUTO OFF 数回押して、新しい時間を設定する

お知らせ

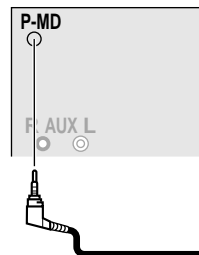
●おやすみタイマーは、おめざめ/留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

ポータブル MD から録音

準備：①電源を入れる。
②録音用 MD を入れる。
● SP / LP2 / LP4 モードを選ぶ。
（☞ 33 ページ）

■停止する ➡ STOP

■ MD の残り時間を知る ➡ 数回押す

■ MD の録音レベルを調節するには
MD に録音する場合、ソース（音源）を再生して録音レベルを調整します。
（☞ 54 ページ）

お知らせ

●ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
●" SYNCHRO " モードでは無音状態が約 3 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
●録音する曲の種類によっては、" SYNCHRO " を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、" MANUAL"で録音してください。

ポータブル MD を接続する

電源を切った状態で接続します。

MD ネットワーク対応のポータブル MD を録音する

本機からポータブル MD をコントロールして、録音やタイトルコピーができます。

FM/AM/EXT **押して" P-MD " を選ぶ**

押すたびに
P-MD → FM → AM → AUX

P–MD
T . 12

ポータブル MD 側の総曲数

ポータブル MD は、自動的に、適切な音量・フラットな音質になります。

MD ネットワークに対応していないポータブル MD を録音する

ポータブル MD 側で音量の調節を行っておく。

FM/AM/EXT **押して" P-MD " を選ぶ**

押すたびに
P-MD → FM → AM → AUX

別売り品の品番は、2003 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

Ω 端子

MD ネットワーク対応
MD ネットワークコード＊（別売り）
RP-CAM9G15、1.5 m
RP-CAMC9G15、1.5 m

MD ネットワーク非対応
ミニ・ミニラインコード（別売り）
RP-CAM3G15、1.5 m

＊どちらの MD ネットワークコードを使うかは、ポータブル MD 側の取扱説明書をご参照ください。

■全曲録音する

REC ●/II **押しながら** MD –HI-SPEED CD▶MD **押す**

録音が始まります。
全曲録音すると自動停止します。

■ 1 曲ずつ録音する

∨/REW ⏮ ∧/FF ⏭ **押して曲番を選び**

選んだ曲が、確認の意味で再生されます。

▼

REC ●/II **押しながら** MD –HI-SPEED CD▶MD **押す**

曲の最初から録音し、1 曲録音すると自動停止します。

■ MD ネットワーク機能について

カタログにこのマークが付いている製品です。

- MD ネットワーク機能は、ポータブル MD と MD ステレオシステムの組み合わせで働きます。
- 録音が終了して約 4 分たつと、ポータブル MD は節電のため、自動的に電源が切れます。(“ P-MD ”が点滅)
  再度録音する場合は、左記操作を最初から行ってください。
- 録音終了後は電池の消耗を防ぐため、MD ネットワークコードを抜いてください。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。
- 次の場合は、ポータブル MD 側のディスクタイトルがコピーされません。
  - 1 曲ずつ録音したとき
  - 本機側の MD にディスクタイトルやグループ管理情報が入っているとき
- タイマーと組み合わせて使うことはできません。

EDIT MODE **押して録音モードを選ぶ**

押すたびに
MANUAL（マニュアル）（通常の録音モード）
↑↓
SYNCHRO（シンクロ）
（接続した機器の再生が始まると、自動的に録音を開始）

REC ●/II **押しながら** MD –HI-SPEED CD▶MD **押す**

- **MANUAL では**
  録音が始まります。
- **SYNCHRO では**
  録音待機状態になります。

ポータブル MD を再生する

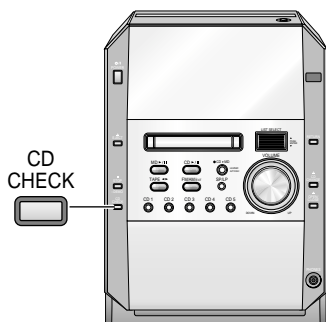
SYNCHRO では、音の出始めから録音が始まります。

使いこなす

ポータブルMDから録音

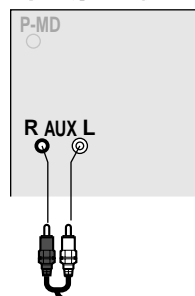
テレビ・ビデオなどを楽しむ/便利な機能

準備：①電源を入れる。
②録音用 MD/テープを入れる。
● MD に録音時
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ。
（☞ 33 ページ）
●テープに録音時
リバースモードを選ぶ。
（☞ 35 ページ）

■録音を停止する ➡ STOP

■ MD の残り時間を知る ➡ DISPLAY –LIGHT 数回押す

別売り機器を接続する

テレビ、ビデオ
有線
CS/BS チューナー
アナログプレーヤー
など

電源を切った状態で接続します。

別売り機器を聞く/本機に録音する

リモコンのみ

テレビ、ビデオ
有線
CS/BS チューナー
アナログプレーヤー
など

テレビ、有線放送、CS/BS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく。

FM/AM/EXT **押して "AUX" を選ぶ**

押すたびに
P-MD → FM → AM → **AUX**

聞くだけの場合は、次に別売り機器を再生します。

録音レベルを変更する

リモコンのみ

MD に録音して、音量に不足を感じる場合などに使用します。

録音元のソース（音源）を再生する
（CD、テープ、ラジオ、ポータブル MD、別売り機器）

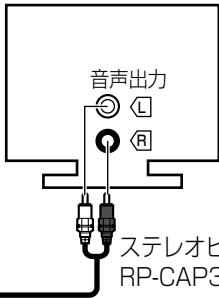
どのトレイに CD（12 cm）が入っているか確認する

CD チェック

CD CHECK **押す**

停止中はすべてのトレイが開きます。
再生中のトレイは開きません。

お知らせ
●ソース（音源）や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

別売り品の品番は、2003年12月現在のものです。品番は変更されることがあります。

アナログプレーヤー
テレビ、ビデオ
有線
CS/BS チューナー
など

ステレオピンコード（別売り）
RP-CAP3G10、1 m

■アナログプレーヤーについて

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

推奨品：当社製アナログプレーヤー
SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

■ MDに録音する

EDIT MODE 押して録音モードを選ぶ

押すたびに
MANUAL（通常の録音モード）
↓
SYNCHRO
（接続した機器の再生が始まると自動的に録音を開始）
（☞52ページ「お知らせ」）
↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

REC ●/II 押しながら MD –HI-SPEED CD▶MD 押す → 別売り機器を再生する

● MANUAL、TIME MARKでは
録音が始まります。
● SYNCHROでは
録音待機状態になります。

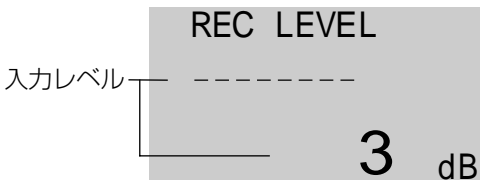
SYNCHROでは、音の出始めから録音が始まります。

■テープに録音する

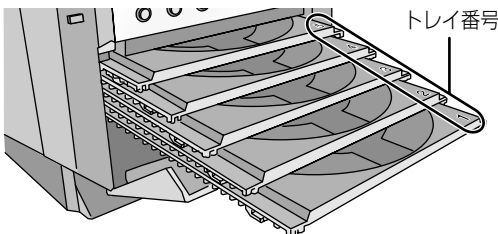
REC ●/II 押しながら TAPE 押す → 別売り機器を再生する

録音が始まります。

REC 押しながら VOL − VOL ＋ 押す

曲中の最大音量のときに、“over”と表示しないように入力レベルを調整します。

お知らせ

●±10 dBの範囲で調整できます。
●調整中、スピーカーから聞こえる音は変化しません。
●電源を切ると“0 dB”に戻ります。
●レベル表示は、ボタン操作がないと、約10秒で消えます。
●“over”と表示されると、音がひずんで録音されることがあります。

■閉めるには → CD CHECK

お願い

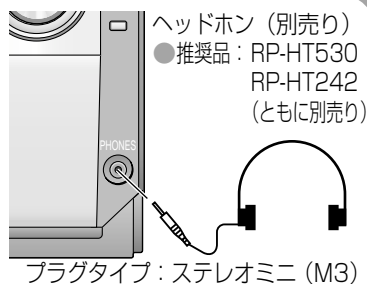
CDチェック中は、次のことをお守りください。
● CDを出し入れしない
●トレイを引っ張らない

便利な機能(つづき)

別売り品の品番は、2003 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ヘッドホンを使う

ヘッドホン（別売り）
●推奨品：RP-HT530
RP-HT242
（ともに別売り）

プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

お願い

●接続するときは、音量を下げてください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

時間やタイトルなどの情報を見る

ディスプレイ

DISPLAY –LIGHT **押す**

押すたびに、いろいろな情報が表示されます。

お知らせ

●表示される内容は、現在行っている操作やソース（音源）などによって異なります。

表示部やライトの明るさを変える

ライトモード

本体のライトや表示部の明るさを切り換えることができます。

DISPLAY –LIGHT **長押し**(2 秒以上)

長押しのたびに
ライト点灯/表示部（明）
↑↓
ライト消灯/表示部（暗）

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

ボタン操作がない状態が 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

SLEEP –AUTO OFF
"AUTO OFF"と表示するまで
長押し(2 秒以上)

AUTO OFF

長押しのたびに
AUTO OFF
↑↓
SCREEN SAVER(解除)
（11 ページ「スクリーンセーバー」）

お知らせ

●一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
● CD、MD、テープの停止中のみ働きます。

音質・音場効果を楽しむ

音に臨場感を与える

サラウンドサウンド

SURROUND **押して好みの音場を選ぶ**

SURROUND 1

押すたびに

SURROUND 1 ：音楽に自然な臨場感を与えます。
↓
SURROUND 2 ：映画音声に臨場感を与えるとともにセリフが聞きとりやすくなります。
↓
SURROUND OFF：音場効果を使いません。

好みの音質を楽しむ

イコライザー

“PRESET EQ”と“MANUAL EQ”の2種類があります。

SOUND **長押し**(2 秒以上)

PRESET EQ

長押しのたびに
PRESET EQ ⇄ MANUAL EQ

■ PRESET EQ を選んだとき

SOUND **押して好みの音質を選ぶ**

押すたびに

HEAVY	：	ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR	：	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT	：	BGM として聞くとき
VOCAL	：	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	：	音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は“HEAVY”です。

■ MANUAL EQ を選んだとき

BASS（低域）と TREBLE（高域）の調整が行えます。

SOUND **押して“BASS”(低域)または“TREBLE”(高域)を選び**

BASS 0

押すたびに
BASS → TREBLE →元の表示

▼

VOL – / VOL +

“BASS”または“TREBLE”表示中に
押してレベルを調整する

BASS +1

± 4 段階ずつ調整できます。

一時的に消音する

ミューティング

電話がかかってきたときなどに便利です。

MUTING **押す**

MUTING

■解除する ➡ MUTING（“MUTING”が消灯）

お知らせ

● [VOL –] を押して“0”にしたり、電源を切っても解除されます。

より自然な音で聞く

リ.マスター

WMA/MP3 または MD の圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

RE-MASTER **押す**

■解除する ➡ RE-MASTER

（“RE-MASTER OFF”が表示）

RE-MASTER ON

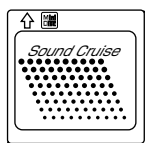
お知らせ

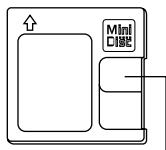
●録音中、リ. マスターは変更できません。

MD について

MD の種類

■演奏専用 MD

録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

シャッター

MD の録音・編集について

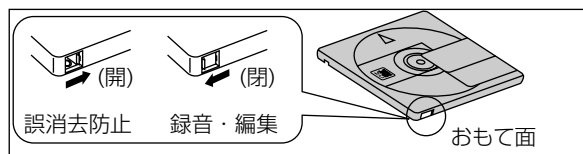
■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです

ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について

デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー” の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing” の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

■トラックマーク

録音部分に記録される “区切り” のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲まで記録することができます。

■TOC（トック）(Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や再生時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

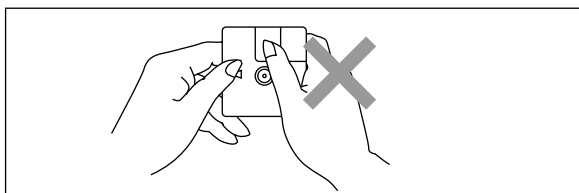
■UTOC（ユートック）(User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing” と表示され注意を促します。

■MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

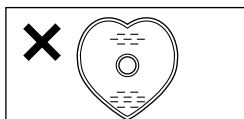
取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

MD の制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り / 早戻しすると、音の途切れることがある。	

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

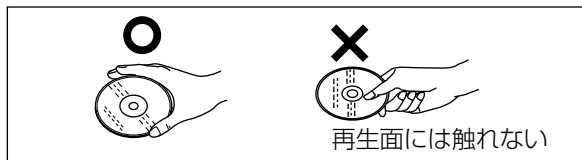
ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。

■CD-R と CD-RW の再生について

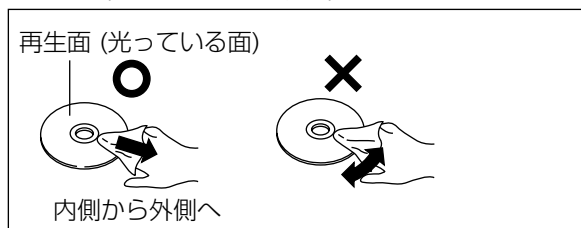
CD-DA、WMA または MP3 フォーマットで記録された CD-R と CD-RW 再生に対応しています。CD-DA フォーマットの場合は音楽用ディスクを使用し、録音終了時にファイナライズ※が必要です。

ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■持ちかた

■汚れたときは

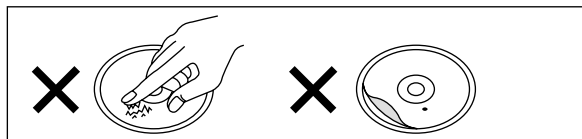
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

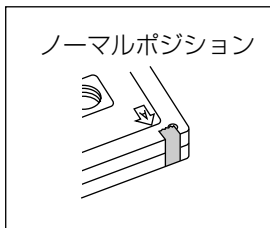
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

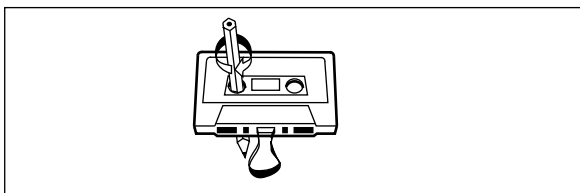
テープについて

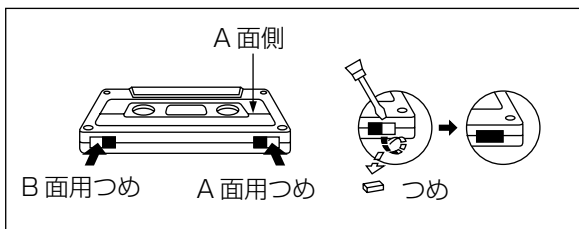
■100 分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには

① [◀ ▶ TAPE] を押して、“TAPE”を選び [■ STOP] を押す。
② テープを入れる。
③ [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ [●/❚❚ REC] を押しながら、[TAPE] を押す。

取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

- テープに付属している以外のシール(特に厚みのあるシール)を貼らない
- 指定以外の場所にシールを貼らない

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。 現在アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ(サービスルート扱い　品番：RFKZ0088KIT)が必要です。 そのままつなぐと、音が小さくなります。	54
	テレビをつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
MD	MD ネットワークに対応している機器は？	カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	53
	MD に長時間録音する方法は？	[SP/LP] を押して “LP2” または “LP4” を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	33
	MD の残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［DISPLAY －LIGHT］を数回押してください。	56
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース (➡ 42 ページ)
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	—
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MD**LP** に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に “LP:” と表示され、無音で再生されます。	—
その他	ハイポジションテープやメタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。 ただし、使用しても、機器への支障はありません。	—
	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも 1 つの方法です。	57
	全曲録音できないが、どうすれば？	複数の CD から MD やテープに録音する場合などで、全曲録音できないことがあります。CD など録音元の総再生時間、MD やテープの残り時間、MD の SP/LP2/LP4 モードを確かめてから録音してください。	—

著作権について/お手入れ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■MDを良い音でお楽しみいただくために

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
MDレンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

Windows Media、Windowsロゴは米国その他の国で米国Microsoft Corporationの登録商標または商標になっています。
WMA（Windows Media™ Audio）とは米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

HighMAT、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer 3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびTHOMSON multimediaからライセンスを受けています。

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 グループ設定中は MD の編集やタイトル入力できません。	各設定を解除したうえで、編集操作を行ってください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
F □□ H □□ (□□は数字を示します)	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1 度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやムーブができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。
LOAD ERROR Press EJECT	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。	[▲ EJECT] を押して、MD を取り出してください。挿入方向とシャッターが閉じていることを確認して、再度入れてください。
MD F □□ (□□は数字を示します)	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MEMORY FULL ERASE TITLE	100 枚を超えて CD のタイトルを入力しようとしています。	不要なタイトルを消してから再度入力してください。
NO DISC	CD または MD が入っていません。	CD または MD を入れてください。
NO PLAY	WMA / MP3 の読み取りに問題が発生しました。 WMA ディスクで、情報部に JPEG など大きなデータが入っていると再生できない場合があります。	再生できません。
NO REMAIN	MD に空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
NO WMA/MP3	CD-ROM ディスクで WMA/MP3 がありません。	再生できません。
NOT FIND	タイトルサーチで検索したが、該当する曲が見つかっていません。	もう 1 度［TITLE SEARCH］を押して別の曲名を入力して検索してください。
NOT MP3 ERROR E2/E4	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
PGM（点滅）	プログラム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	プログラムを解除してから操作してください。
PGM FULL	予約曲数が 24 曲を超えています。	これ以上の予約はできません。
PLAYBACK DISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
P-MD（点滅）	MD ネットワークで録音終了後、約 4 分以上ボタン操作がなく放置されています。	MD ネットワーク機能を使うには、もう 1 度 [FM/AM/EXT] を押して "P-MD" を選ぶ。
P-MD ERROR 動作中(TOC 読み込みなどに)	MD ネットワークの異常があります。	ポータブル MD の電池残量やコードの接続を確認してもう 1 度 [FM/AM/EXT] を押して "P-MD" を選ぶ。
READ ERROR	WMA/MP3 で再生しようとしたトラックが読み取れませんでした。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
RND（点滅）	ランダム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	ランダムを解除してから操作してください。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS (☞ 58 ページ) が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 [EDIT MODE] を "ANALOG-REC" が表示されるまで長押ししてアナログ録音に切り換えてください。
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。 何回かに分けて操作してください。

表　示	意　味	処　理
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するには、テープのつめの部分にセロハンテープを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了して“UTOC Writing”の点滅後に続きを入力してください。
TOC ERROR	WMA/MP3 または MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、WMA/MP3 または MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
TOC READING	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	“TOC READING”消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト(保護)がかかっています。	MD では編集・消去していいか、確認してから操作してください。
		WMA ではそのトラックをスキップして再生します。
UTOC FULL	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。 またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。 (MD1 枚の最大曲数は 254 曲)	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにつないでください。

主な仕様

センターユニット部(SA-PM700MD)

アンプ部

実用最大出力 (両 ch 動作)　: 25 W + 25 W
(全高調波ひずみ率 10 %)
LOW、HIGH 6 Ω 総合出力
LOW　: 13 W + 13 W
HIGH　: 12 W + 12 W

FM チューナー部

受信周波数帯域　: 76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子　: 75 Ω (不平衡型)

AM チューナー部

受信周波数帯域　: 522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

カセットデッキ部

トラック方式　: 4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
録音/再生　: パーマロイ
消去　: ダブルギャップフェライト
モーター　: DC サーボモーター
録音方式　: AC バイアス 100 kHz
消去方式　: AC 消去
テープ速度　: 秒速 4.8 cm

CD 部

サンプリング周波数　: 44.1 kHz
量子化　: 16 ビット直線
光源　: 半導体レーザー
波長　: 780 nm
チャンネル数　: 2 チャンネル (ステレオ)
ワウ・フラッター　: 測定限界以下
デジタルフィルター　: 8 fs
D/A コンバーター　: MASH (1 ビット DAC)
CD-R、CD-RW 再生可
WMA、MP3 再生可
対応ビットレート　: WMA 40 kbps ～ 192 kbps
MP3 32 kbps ～ 320 kbps
HighMAT 対応

MD 部

形式　: ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式　: 磁界変調オーバーライト方式
読取方式　: 半導体レーザー (λ =780 nm) による非接触光学式
サンプリング周波数　: 44.1 kHz
圧縮/伸張方式　: ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数　: 2 チャンネル (ステレオ)
ワウ・フラッター　: 測定限界以下
録音再生時間 (ステレオ)
80 分 MD 使用　: 80 分 (SP)、160 分 (LP2)、320 分 (LP4)

その他

高速録音 (CD → MD)　: 最大 6 倍速
(平均 5.3 倍速、74 分 CD 使用時)
74 分 CD 時、約 14 分で録音

本体総合

電源　: AC 100 V　50/60 Hz
消費電力　: 54 W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)　: 179 × 250 × 348 mm
質量　: 約 5.6 kg

電源スタンバイ時の消費電力　: 約 0.2 W (DEMO OFF 時)

スピーカー部(SB-PM700)

形式　: 2 ウェイ 2 スピーカーバスレフ型
ウーハー　: 10 cm コーンタイプ
ツイーター　: 6 cm リングシェープドドームタイプ
インピーダンス
LOW　: 6 Ω
HIGH　: 6 Ω
許容入力 (IEC)
LOW　: 40 W (Max)
HIGH　: 40 W (Max)
出力音圧レベル　: 84 dB/W (1.0 m)
クロスオーバー周波数　: 3 kHz
再生周波数帯域　: 50 Hz ～ 50 kHz (−16 dB)
60 Hz ～ 45 kHz (−10 dB)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)　: 137 × 251 × 236 mm
質量　: 約 2.2 kg

注) 1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	2
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードの先端部分を抜いてから接続しましたか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8
		スピーカーコードがはずれていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	本機のスピーカーコードの⊕⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	8・54
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	—
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	9
ラジオ	FM 放送や AM 放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続する。	8
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “ STEREO ”が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	29
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	29
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
		FM ステレオ放送中に音場効果を使用していませんか。	［SURROUND］を押して“ SURROUND OFF ”を選ぶ。	57
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	6
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
CD	CD を入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	59
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	—
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	59
	高速録音時に音飛びや MD にノイズが記録される。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いている場合は CD を交換してください。 指紋は柔らかい布でふいてください。 きれいに拭いたあと通常の録音を行うと改善される場合があります。 CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	—
	CD-R/RW から録音できない。			
	5CD イッキ録りができない。	ディスクが WMA/MP3 ではありませんか。	WMA/MP3 は 5CD イッキ録りできません。 他の方法で録音してください。	
			ディスクや条件によってイッキ録りができないことがあります。	
	CD トレイふたが正しく閉まらない。	—	① ［⏻/I POWER］を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ② ［⏻/I POWER］を押す。 電源が入り“ WAIT ”と表示されます。 “ WAIT ”が消えてからご使用ください。	

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	—
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	58
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。	文字数には制限があります。	44
	MDを入れても"TOC READING"が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で[▲ EJECT]を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	① [⏻/I POWER]を押す。しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ[▲ EJECT]を押す。MDが出てきます。（出てこないときは、手順 ①② をくりかえす） ③ MDを取り替える。	—
	高速録音ができない。	録音を終了した時点から74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	74分待ってから録音する。 通常の録音を行う。	33・37
	ディスクタイトルの表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	44
	ディスクタイトルが正しく表示されない。	—	本機でグループ編集を行ったMDをグループ編集未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。	—
	LP4モードで録音された曲で若干の音漏れが生じる。		LP4モードで録音された曲をつなげたり、分けた部分は、若干の音漏れを生じることがあります。	
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	61
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープを貼る。	59
	録音が少し途切れる。	—	テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音は少し途切れます。 片面ずつプログラム録音してみるのも1つの方法です。	36
	テープが取り出せない。		AM放送をMDに録音または録音待機中はテープを取り出せません。停止後に行ってください。	—
その他	タイトルサーチできない。	プログラムまたはランダムプレイを設定していませんか。	解除してから行ってください。	22
	WMA/MP3ディスクでタイトルが表示されない。	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）で付けていませんか。	本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）で付けてください。	16
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	—
		1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5 MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社はこの MD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
64 ～ 65 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	MD ステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM700MD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0903

さくいん

Panasonic MD ステレオシステム SC-PM700MD 取扱説明書

愛情点検 長年ご使用のMDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-PM700MD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT7440-5S
H1203BB5074